

平成28年 第12回

戸田市教育委員会定例会

平成28年11月17日(木) 午前9時30分

戸田市役所 3階 教育委員室

戸田市教育委員会

第12回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案について 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第37号 教職員の人事について……………当日配付

議案第38号 教職員の人事について……………当日配付

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

平成28年12月12日（月）午後4時～

(2) その他

7 閉 会

教育委員提案について

平成28年第12回教育委員会(定例会)

平成28年11月17日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案について

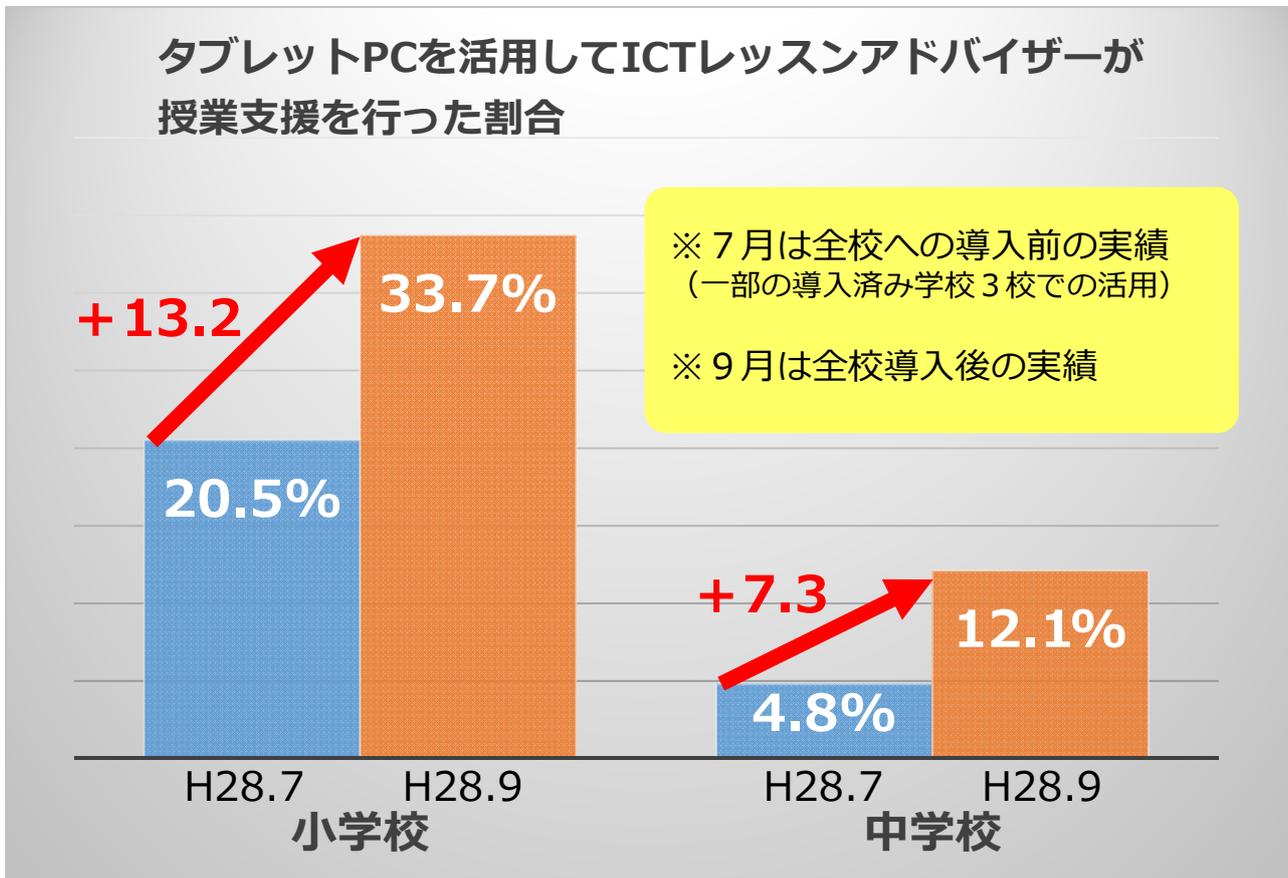
ページ

- ① ICT機器等の活用状況について…………… 1
(教育政策室)
- ② アクティブ・ラーニングの進捗状況について…………… 2
(教育政策室)
- ③ 教育委員研修について…………… 4
(教育総務課)

戸田市立小・中学校におけるタブレットP Cの活用について

ICTレクソンアドバイザー サポート活動分析報告より

※レクソンアドバイザー：全小・中学校に配置。各学校、1ヶ月に2日の勤務。



- ・夏季休業中に、全小・中学校にタブレットP C（40台）、無線LAN、ミライシードが導入された。
- ・導入に合わせて、授業での活用が進み、ICTレクソンアドバイザーが授業支援に入る割合が増加した。
- ・はじめは、ICTレクソンアドバイザーの支援を必要としていた授業も、教員のスキルが上がるにつれ、ICTレクソンアドバイザーの支援なしにタブレットP Cの活用が進んでおり、今後、更なる活用が期待される。

～活用事例～

- ・小学校6年【社会】
明治時代の人物についての学習では、選んだ人物についてまとめる部分でオクリンクを活用した。
- ・中学校3年【総合】
将来の生き方についての学習では、ムーブノートを使って個人の意見を出し合い、他者の感じ方や経験を知ることによって、自分の考えをより掘り下げることができた。



喜沢中学校での活用の様子

どのように学ぶか 主体的、対話的で深い学びのある授業を ～アクティブ・ラーニングの視点による学習指導の改善に向けた取組状況～

主体的、対話的で深い学びのある授業のポイント

- 児童生徒に身に付けさせたい力など授業の**ねらいが明確**になっている。
- 児童生徒が選択したり、判断したりする**必然性のある課題**が設定されている。
- 児童生徒が課題解決の**見通し**をもって、学習に取り組めるよう工夫されている。
- 自分の立場や意図**を意識して、課題解決に取り組んでいる。
- 話合いの目的が明確に示され、児童生徒が**協働的な課題解決**に取り組んでいる。
- 話合いを通して、自分の考えを表現したり**理解し直し**したりするなど、考えを深めている。
- 児童生徒自身が、自分の学びや考えの変容を説明する**振り返り**の活動が位置付けられている。

主体的、対話的で深い学びを通して見られる児童生徒の姿

- 今までに身に付けた力を**どのよう**に使えばよいか考え、課題解決に取り組む児童生徒
- 資料を活用**しながら、自分の考えをわかりやすく説明しようとする児童生徒
- ミライシードを活用し、互いの考えを**整理・分析**することで、多面的・多角的に考える児童生徒



戸田市立小・中学校で見られる主体的、対話的で深い学びのある授業の例

【国語】

- 文章を読んでもった自分の考えを、**根拠を明らかにしながら**グループで話し合う活動。
(例)「物語を読んでお気に入りの場面を友達に紹介する。」
「走れメロスを読み、3人の登場人物で一番勇気があるのは誰か話し合う。」

【社会】

- グループで話し合うことを通して、**自分の考えを深める**活動。
(例)「豊臣秀吉はどのような世の中を目指していたのか、4つの政策から考える。」
「今後のエネルギー開発の割合を考え、よりよい日本のエネルギー開発についてグループで話し合う。」

【算数・数学】

- 答えを求めた後に思考する活動。(例)内容や方法を検討する。
- 解法を組み合わせ、よりよい解き方を**検討する**活動。(例)協調学習の手法を用いる。

【図工・美術】

- 作品を製作(制作)する過程で、自分の工夫したところや友達のよいところなどを**交流する**活動。
- それぞれの視点で作品を鑑賞し、**違った視点**で鑑賞した児童生徒と話し合う活動。



平成28年度 全国学力・学習状況調査結果分析

～児童生徒質問紙に見る戸田市の成果と課題～

主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点による学習指導の改善に向けた取組状況

- 「授業で、課題に対し、自ら考え、自分から取り組む」
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」（%）

小学校6年生						中学校3年生					
戸田市	83.4	+5.6	全国	77.8		戸田市	80.2	+6.4	全国	73.8	
A小	B小	C小	D小	E小	F小	A中	B中	C中	D中	E中	F中
93.8	89.1	88.7	87.6	87.4	85.8	89.4	83.1	81.3	80.9	76.8	69.6
G小	H小	I小	J小	K小	L小						
81.3	80.2	79.3	77.6	75.2	73.7						

- 「授業で、自分の考えを発表する機会では、工夫して発表」
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」（%）

小学校6年生						中学校3年生					
戸田市	69.8	+5.6	全国	64.2		戸田市	65.5	+7.8	全国	57.7	
A小	B小	C小	D小	E小	F小	A中	B中	C中	D中	E中	F中
80.0	76.0	75.1	74.1	73.7	70.6	73.7	68.4	66.6	63.0	60.5	58.0
G小	H小	I小	J小	K小	L小						
67.9	67.9	67.4	67.4	59.0	57.1						

教育委員研修について

No	研修名	内容	担当課
1	教育委員会の職務権限について～議案・報告・教育委員提案の違い～	教育委員会が管理、執行する事務、教育長に委任できる事務について説明する。	教育総務課
2	新しい学びを促すタブレットを使った学習コンテンツの体験について	学習コンテンツに実際に触れ、学校で子供たちが行っている協働的な学びの体験をする。	教育政策室
3	学校施設管理について	市内各小・中学校が安全・安心な場所であるよう、各種修繕・委託を行い、また、備品等を管理している。その内容について説明する。	教育総務課
4	高等教育への修学支援制度について	教育に係る経済的負担の軽減について説明する。(入学準備金貸付制度・奨学資金貸付制度・海外留学奨学資金給与制度)	教育総務課
5	学校給食の運営について	学校給食課の業務内容、調理方式の違い(センター方式と単独校方式)、調理業務の委託化などについて説明する。	学校給食課
6	学校給食における食物アレルギーへの対応について	食物アレルギーの症状、現状の対応(マニュアルなど)などについて説明する。	学校給食課
7	図書館業務の概要について～図書館資料収集方針～	図書館で所蔵する書籍等の選定(選書)に関する基準について説明する(除籍基準を含む。)	図書館・郷土博物館
8	学校給食の衛生管理について	学校給食衛生管理基準、調理場の安全管理、施設の保全などについて説明する。	学校給食課
9	公民館事業について	公民館の体制、講座等事業内容、施設、課題について説明する。	生涯学習課
10			

報告事項

平成28年第12回教育委員会(定例会)

平成28年11月17日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 報告事項

ページ

- ① 全国市区町村公立学校情報化ランキング2016について…………… 1
(教育総務課)
- ② 中学校学校選択制による入学希望校申込状況について……………当日配付
(学務課)
- ③ 平成28年度埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校審査結果について…………… 4
(教育政策室)
- ④ 第4次戸田市生涯学習推進計画について……………別紙
(生涯学習課)
- ⑤ その他

全国市区町村公立学校情報化ランキング 2016 について

1 全国市区町村公立学校情報化ランキング 2016 とは

文部科学省が全国の公立学校を対象に実施した「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」（平成28年3月1日時点）を基に、日経BP社が算出したランキングで、今回で9度目の発表となる。

2 戸田市の順位

埼玉県内公立小中学校で第1位

3 評価項目

インフラ整備：児童生徒用PCの導入率や、電子黒板の導入率、校務支援システムの導入率

教員指導力：教員の授業へのICTの活用力や情報モラルの指導力など

4 埼玉県平均値及び全国平均値との比較

別紙のとおり

平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 埼玉県戸田市と埼玉県平均値、全国平均値との比較

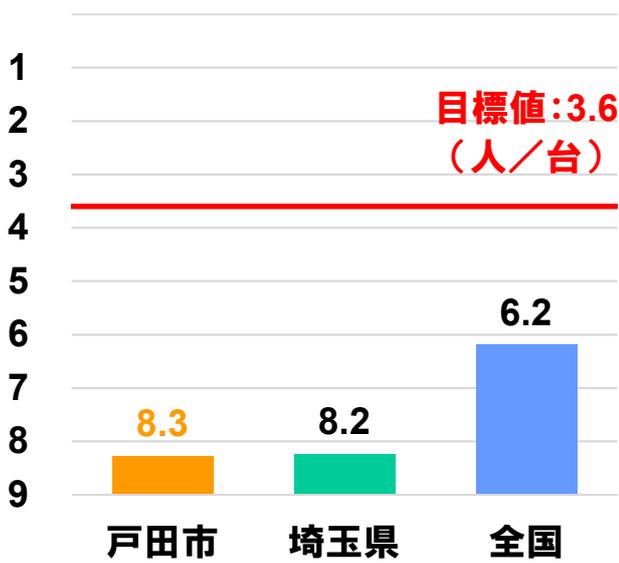
	戸田市	埼玉県	全国
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	8.3 (34)	8.2	6.2
一学校あたりの電子黒板の整備台数	29.1 (1)	4.1	3.0
電子黒板のある学校の割合	100.0% (1)	79.4%	78.8%
普通教室の電子黒板整備率	161.4% (1)	24.2%	21.9%
普通教室のLAN整備率	100.0% (1)	72.3%	87.7%
普通教室の無線LAN整備率	8.0% (29)	24.2%	26.1%
インターネット接続率(光ファイバ回線)	100.0% (1)	96.8%	86.1%
インターネット接続率(30Mbps以上回線)	100.0% (1)	81.6%	84.2%
教員の校務用コンピュータ整備率	121.8% (13)	115.4%	116.1%
校務支援システムの整備率	100.0% (1)	90.4%	83.4%
校務支援システムを整備している学校のうち、 統合型校務支援システムを整備している割合	100.0% (1)	33.8%	51.7%
デジタル教科書の整備率	100.0% (1)	51.4%	42.8%
学校CIOの設置状況	100.0% (1)	45.0%	41.6%

※()内は同一都道府県内の順位(市区町村、組合を含む)

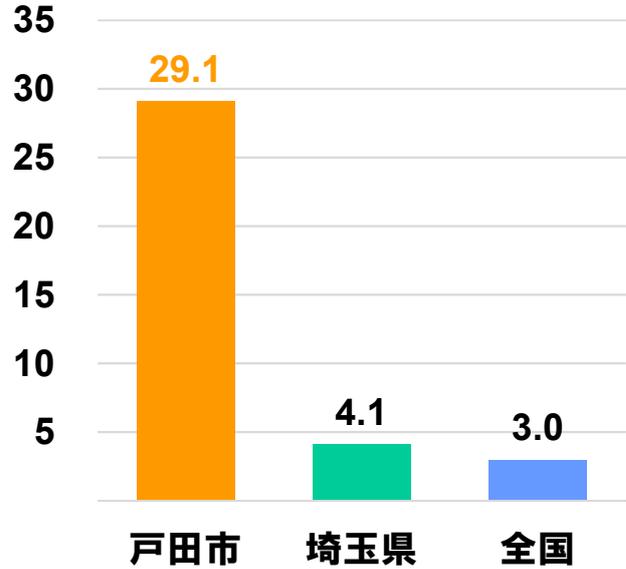
埼玉県平均値、全国平均値よりも整備率が **高い** → **青文字**
埼玉県平均値、全国平均値よりも整備率が **低い** → **赤文字**

文部科学省「平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」をもとに作成。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1287351.htm

教育用コンピュータ1台当たりの
児童生徒数（人／台）

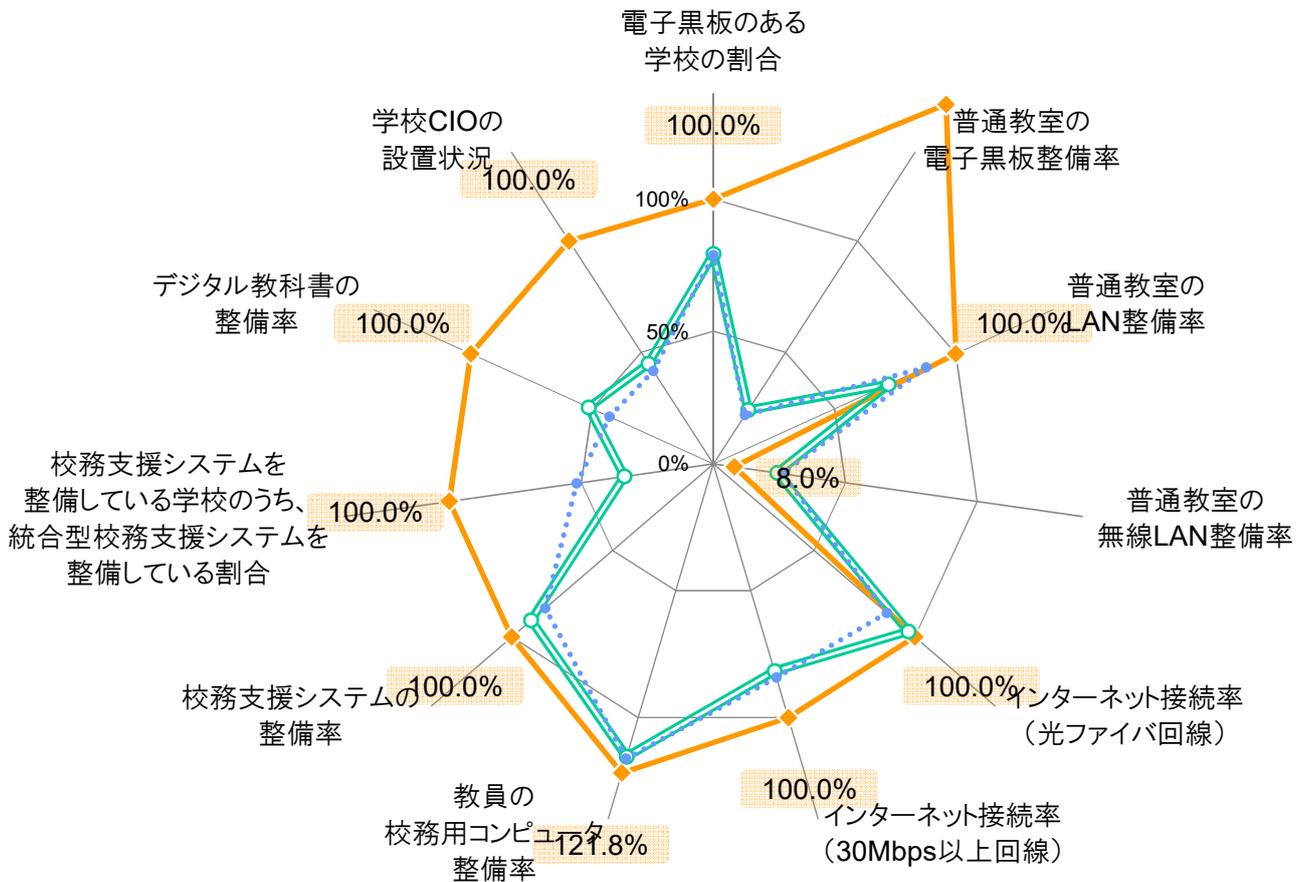


一学校あたりの電子黒板の
整備台数（台／校）



「コンピュータの設置状況」及び「インターネット接続状況」の実態

—●— 戸田市（実線） —○— 埼玉県（二重線） 全国（点線）



文部科学省「平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」をもとに作成。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1287351.htm

戸田市立中学校学校選択制による入学希望校申込状況一覧

平成28年11月2日締切

学 校 名	通学区域内で 希望した児童数(人)	通学区域外から 希望した児童数(人)	通学区域外児童 受入定員数(人)	合計希望数(人)
戸田中学校	236	62	35	298
戸田東中学校	114	8	35	122
美笹中学校	90	2	35	92
喜沢中学校	167	16	35	183
新曾中学校	279	25	35	304
笹目中学校	172	25	25	197
戸田中学校 (特別支援学級)	4	1		5
喜沢中学校 (特別支援学級)	3	0		3
笹目中学校 (特別支援学級)	7	0		7
合 計	1,072	139		1,211

報告事項③



教保体第1408-1号
平成28年11月 2日

戸田市教育委員会教育長 様

埼玉県教育委員会教育長

平成28年度埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校表彰の 審査結果について（通知）

このたびは、標記の優良学校表彰に御推薦いただきありがとうございました。
要項に従い、厳正かつ公平な審査を実施した結果、別添のとおり優良学校及び努力学校が決定いたしました。
つきましては、貴管下の関係各学校長宛てに、審査結果をお知らせいただきますようお願いいたします。

記

- 1 審査結果 別添「平成28年度埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校及び努力学校」のとおり
- 2 連絡事項 平成28年度埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校及び努力学校の表彰は、「平成28年度埼玉県学校健康教育推進大会」において実施いたします。
 - (1) 日時 平成29年1月27日（金） 受付13:15（予定）
 - (2) 会場 さいたま市文化センター
 - (3) その他 健康教育推進大会の開催要項及び表彰式への出席等については、改めて御連絡いたします。

県立学校部保健体育課
健康教育・学校安全担当 村田 陽
電話 048-830-6964
FAX 048-830-4971

平成28年度埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校及び努力学校

※学校種ごと50音順に記載

学 校 保 健 (20校)	
優 良 学 校 (9校)	努 力 学 校 (11校)
川口市立青木中央小学校 川口市立芝西小学校 川口市立朝日東小学校 川口市立桜町小学校 久喜市立栗橋小学校 さいたま市立常盤小学校 草加市立小山小学校 川口市立東中学校 熊谷市立奈良中学校	小鹿野町立長若小学校 鴻巣市立吹上小学校 さいたま市立常盤北小学校 戸田市立戸田第一小学校 八潮市立潮止小学校 上尾市立上尾中学校 上尾市立大谷中学校 戸田市立喜沢中学校 深谷市立幡羅中学校 富士見市立東中学校 蕨市立東中学校

学 校 安 全 (13校)	
優 良 学 校 (7校)	努 力 学 校 (6校)
川口市立在家小学校 川口市立元郷南小学校 川口市立領家小学校 さいたま市立高砂小学校 幸手市立吉田小学校 ときがわ町立萩ヶ丘小学校 川口市立鳩ヶ谷中学校	上尾市立芝川小学校 朝霞市立朝霞第五小学校 さいたま市立大宮別所小学校 吉川市立三輪野江小学校 川口市立岸川中学校 熊谷市立江南中学校

学 校 給 食 (20校)	
優 良 学 校 (8校)	努 力 学 校 (12校)
川口市立慈林小学校 川口市立本町小学校 さいたま市立大東小学校 幸手市立長倉小学校 志木市立志木小学校 戸田市立新曾小学校 戸田市立美谷本小学校 深谷市立幡羅小学校	上尾市立上平小学校 春日部市立正善小学校 加須市立北川辺西小学校 川口市立差間小学校 川口市立辻小学校 川口市立前川東小学校 幸手市立八代小学校 志木市立志木第三小学校 羽生市立川俣小学校 深谷市立豊里小学校 越谷市立富士中学校 県立行田特別支援学校

戸田市
第4次生涯学習推進計画
(案)

—目次—

第1章 計画の概要	1
1 計画の背景・目的	1
2 関連計画との位置づけ	2
3 計画の期間	4
4 計画策定の体制	4
第2章 戸田市の生涯学習を巡る現状	5
1 戸田市の概況	5
2 戸田市の生涯学習を巡る現状分析	10
第3章 生涯学習推進の基本方針	13
1 基本理念	13
2 基本目標（目指すテーマ）	14
3 施策の体系	15
第4章 基本施策の展開	16
基本施策Ⅰ 多様なニーズに応じて提供する主体的な 戸田の学び（アクティブラーニング）の充実	16
Ⅰ-1 ライフステージに沿った学びの提供	17
Ⅰ-2 多様なニーズに応じた学びの提供	17
Ⅰ-3 市民の学ぶ力を高めるサポート事業の提供	18
Ⅰ-4 学びを豊かにするイベントの充実	18
基本施策Ⅱ 戸田の学びを多彩に展開する環境の充実	19
Ⅱ-1 関連施設の整備および活用	20
Ⅱ-2 多彩な学びの場の確保・創出	20
Ⅱ-3 各種サポート制度の整備	21
Ⅱ-4 各種相談体制の充実	21
基本施策Ⅲ 戸田の学びの広報および支援体制の充実	22
Ⅲ-1 広報・情報提供体制の充実	23
Ⅲ-2 市民・民間との連携体制の強化	23
Ⅲ-3 庁内連携体制の強化	24
Ⅲ-4 学びの事業の評価・改善の推進	24
第5章 目標指標と事業展開	25
1 目標指標	25
2 事業展開	28

第1章 計画の概要

1 計画の背景・目的

21世紀も10数年を経て、国としては人口減少社会を迎え、経済の低成長が続く中、私たちは、少子高齢化、IT化、グローバル化などの環境変化を踏まえた成熟社会への対応が求められます。幸いにも、本市においては、人口増加がなお継続し、子育て世代も比較的多い、活気のあるまちの特性を保っています。それゆえにこそ、成熟社会において重要となる生涯学習の在り方や幅広いニーズを、常に振り返り、充実させていくこと、そうした取り組みを市民と行政が一体となって、ともに進めていくことが期待されます。

本市では、平成9年を初年度とする「戸田市生涯学習推進基本構想（とだエコプラン）」をはじめとして、平成19年には「戸田市生涯学習推進計画（第2次）」、そして、平成24年度からは「第3次戸田市生涯学習推進計画」と、市民のニーズの変化や本市の動向を敏速に反映させた推進計画を策定、実施することで、生涯学習施策の総合的な推進を図ってきました。この度、5年間にわたる計画の期間が終了することを受け、新たに未来に向けた「第4次戸田市生涯学習推進計画」を策定することにしました。

本計画は、多様な分野、対象に広がる生涯学習の総合的な充実に向けて、本市の生涯学習の現状と課題を整理し、今後の生涯学習の取り組みを総合的・体系的に示したものです。策定にあたっては、「戸田市第4次総合振興計画」、「第3次戸田市教育振興計画」をはじめとする上位計画及び関連計画との整合、各部門との連携を図りつつ、策定を行っています。

■戸田市の「生涯学習推進計画」の流れ

平成9～平成18年度「戸田市生涯学習推進基本構想（とだエコプラン）」[10年間]



平成19～平成23年度「戸田市生涯学習推進計画（第2次）」[5年間]



平成24～平成28年度「第3次戸田市生涯学習推進計画」[5年間]



平成29～平成33年度「第4次戸田市生涯学習推進計画」[5年間]

2 関連計画との位置づけ

生涯学習に関する、国・県の計画の方向性や定義は、以下のように示されています。

【「生涯学習」の定義】

「生涯学習」は、昭和 56 年の中央教育審議会答申において、
〈人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、必要に応じて自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う学習〉と位置付けられ、
〈一般には人々が生涯に行うあらゆる学習，すなわち，学校教育，家庭教育，社会教育，文化活動，スポーツ活動，レクリエーション活動，ボランティア活動，企業内教育，趣味など様々な場や機会において行う学習〉を指すとされます（文部科学省『文部科学白書』平成 27 年度版）
以上を踏まえると、行政が行う講座だけでなく、民間が行うものも含め、幅広い分野に渡って自らを高める学び、趣味、交流、活動等が生涯学習としてとらえられます。

【国の動向】

文部科学省の第 2 期教育振興基本計画（平成 25 年）では、
〈「自立」,「協働」,「創造」の三つをキーワードとする生涯学習社会の実現に向けて、学校教育の充実はもとより、社会教育，家庭教育，その他様々な場や機会における学習の充実・環境整備〉に取り組む、とうたわれています。
また、近年の生涯学習に関する議論（第 6 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（平成 25 年））の中では、
〈個人の自立に向けた学習×ライフステージに応じた学習機会の充実×学びの場を核にした地域コミュニティの形成の推進×子ども・若者への学習支援×ICT を活用した学習の質の保証・向上、学習成果の評価・活用の推進〉といったキーワード、方向性が提示されています。

【県の動向】

埼玉県では、平成 27 年 3 月に建議「『学びの循環』の実現に向けて～社会教育活動を行う場や機会の活用～」(埼玉県社会教育委員会議)が示され、
〈「学び」を通じて自らを高め、「学び」の成果を社会に還元するなど、新たな社会的役割を創出すること×個々の「学び」が連鎖して、社会全体における持続的な教育力の向上に貢献すること〉を「学びの循環」と定義し、その具現化を目指しています。
具体的には、「埼玉県生涯学習推進指針」(平成 25 年 3 月)、「第 2 期埼玉県教育振興基本計画」(平成 26 年度～平成 30 年度)等に基づく取り組みが進められています。

【市の上位計画・関連計画】

本計画は、本市における生涯学習の総合的な計画として、前述の国、県の方向性を踏まえるとともに、本市の最上位計画「戸田市第4次総合振興計画（平成23年度～）」、「第3次戸田市教育振興計画（平成28年度～）」および各分野の個別計画と整合を図り、策定されるものです。

■戸田市第4次総合振興計画

平成23年度に策定され、平成28年度から後期基本計画がスタートした戸田市第4次総合振興計画では、〈基本目標〉の1番目に「子どもの成長と生涯にわたる学びのまち」を位置づけ、以下の施策を掲げています。

〈基本目標1〉「子どもの成長と生涯にわたる学びのまち」

分野④ 生涯学習

…「生涯学習推進体制の強化」「生涯学習活動の促進」「芸術文化活動の推進」
「図書館・郷土博物館サービスの充実」

■第3次戸田市教育振興計画

平成28年4月よりスタートしている第3次戸田市教育振興計画では、施策の方向のひとつに「生涯学習・生涯スポーツの推進」を位置づけ、以下の施策を掲げています。

〈施策の方向11〉「生涯学習・生涯スポーツの推進」

施策27 生涯学習活動の推進

- 市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進
- 生涯学習団体への支援

■市の関連個別計画

「戸田市スポーツ推進計画」

「戸田市子ども・子育て支援事業計画」

「第2次戸田市子どもの読書活動推進計画」

「第4次戸田市男女共同参画計画」

「第2次戸田市健康増進計画」「戸田市食育推進計画」

「第3期戸田市地域福祉計画」

「第6期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」

「戸田市障がい者計画」「戸田市環境基本計画」

「地域コミュニティ推進計画」 等

3 計画の期間

本計画の期間は、平成 29 年度からの 5 年間です。

なお、計画期間中、状況の変化によって見直しの必要性が生じた場合は、適宜計画の見直しを行うこととします。

■計画の期間

年度	平成 29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
第 4 次戸田市 生涯学習推進計画	<input type="checkbox"/> 策定	■	■	■	■					
次期計画（予定）					<input type="checkbox"/> 見直し	■	■	■	■	■

4 計画策定の体制

本計画については、生涯学習関係団体の市民などで構成する「第 4 次戸田市生涯学習推進計画市民会議」と、庁内関係部局等の職員で構成する「第 4 次戸田市生涯学習推進計画検討委員会」において協議を進め、策定しています。

また、市民、地域の活動団体の声を広く計画づくりに反映させるために、平成 27 年度に「戸田市生涯学習に関する市民意識調査」を実施したほか、「市民会議」の作業部会（自由申込型の市民参加ワークショップ）の開催、パブリックコメントの実施（いずれも平成 28 年度）を行いました。

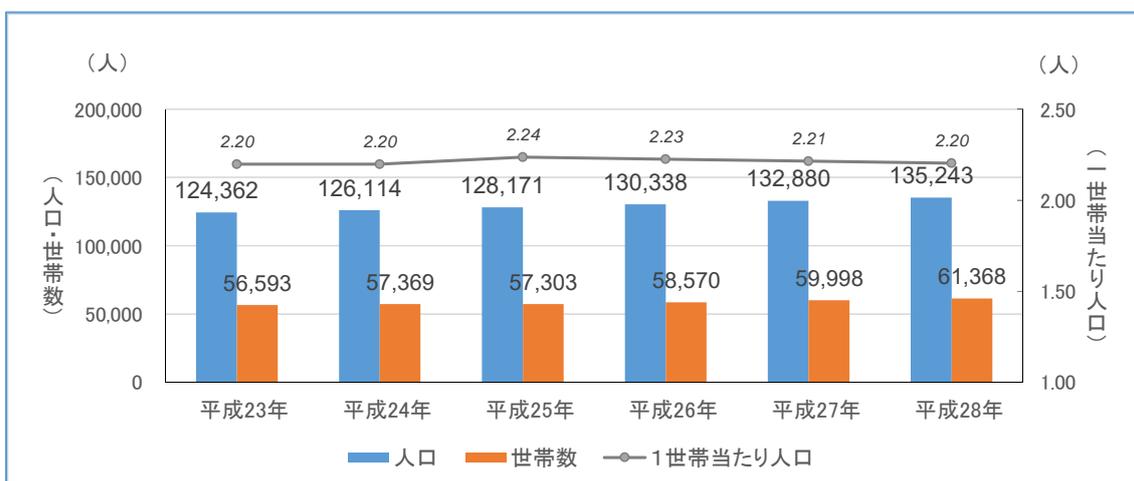
第2章 戸田市の生涯学習を巡る現状

1 戸田市の概況

(1) 人口・世帯

全国的には、人口減少の傾向に入った近年ですが、本市においては人口はなお微増を継続しており、平成28年1月1日現在、総人口が135,243人、総世帯数は61,368世帯となっています。また、一世帯当たり人口は、2.20人で、近年ほぼ横ばいで推移しています。埼玉県の平均（2.31人）と比べると下回る値です。

■人口・世帯

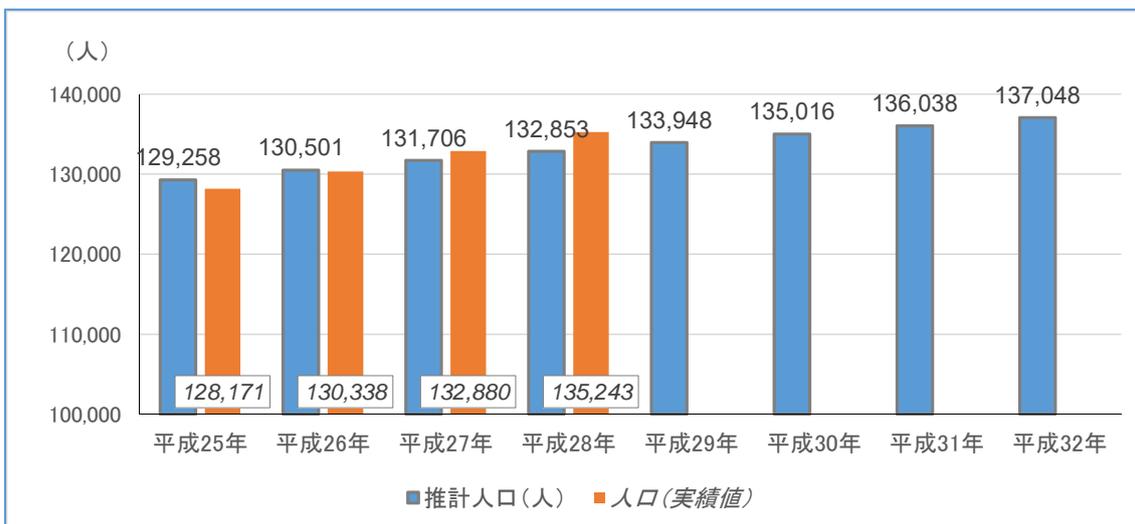


		人口(人)	世帯数	1世帯当たり人口(人)
戸田市	平成23年	124,362	56,593	2.20
	平成24年	126,114	57,369	2.20
	平成25年	128,171	57,303	2.24
	平成26年	130,338	58,570	2.23
	平成27年	132,880	59,998	2.21
	平成28年	135,243	61,368	2.20
埼玉県	平成28年	7,323,413	3,167,510	2.31

資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

戸田市第4次総合振興計画において示されている推計人口をみると、平成29年以降も、総人口は13万人台を維持し、微増傾向を保つとされています。

■推計人口



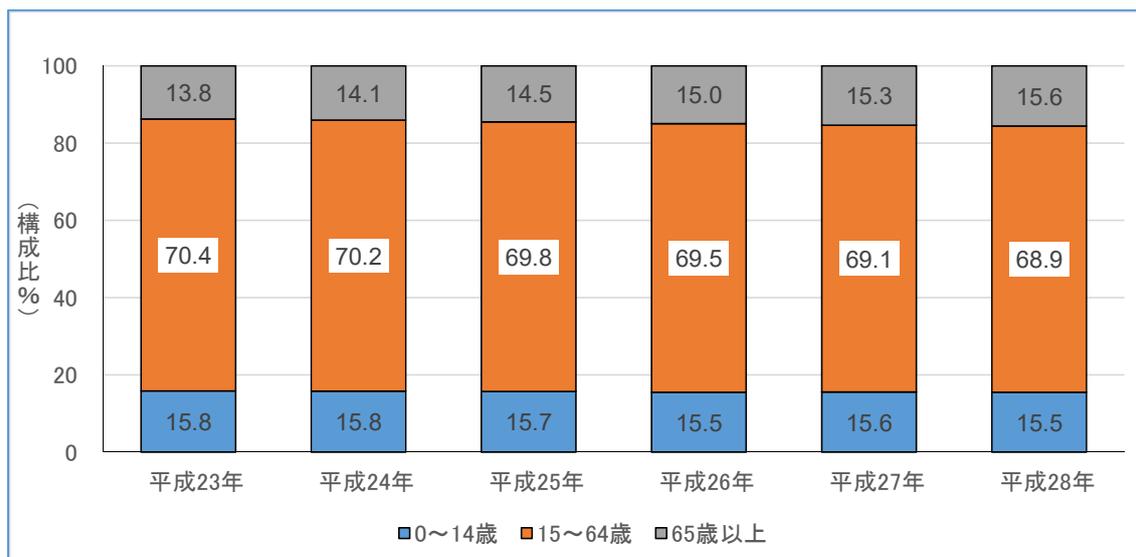
		推計人口(人)	人口(実績値)
戸田市	平成25年	129,258	128,171
	平成26年	130,501	130,338
	平成27年	131,706	132,880
	平成28年	132,853	135,243
	平成29年	133,948	
	平成30年	135,016	
	平成31年	136,038	
	平成32年	137,048	

資料：戸田市第4次総合振興計画

(2) 年齢区分別人口構成

年齢区分別の人口構成をみると、高齢者人口比率は微増傾向が続いていますが、年少人口比率は近年 15%台で推移し、大きな変化はみられません。埼玉県の平成 28 年の年少人口比率（12.8%）と比べても、本市は明確に上回っており、少子高齢化の進行を押しとどめ、比較的“若い”まちとしての特徴を有しています。

■ 年齢区分別人口構成



			総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
			戸田市	実数(人)	平成23年	124,362	19,693
			平成24年	126,114	19,903	88,476	17,735
			平成25年	128,171	20,100	89,451	18,620
			平成26年	130,338	20,257	90,594	19,487
			平成27年	132,880	20,675	91,822	20,383
			平成28年	135,243	20,971	93,234	21,038
	構成比		平成23年	100%	15.8%	70.4%	13.8%
			平成24年	100%	15.8%	70.2%	14.1%
			平成25年	100%	15.7%	69.8%	14.5%
			平成26年	100%	15.5%	69.5%	15.0%
			平成27年	100%	15.6%	69.1%	15.3%
			平成28年	100%	15.5%	68.9%	15.6%
埼玉県	実数(人)	平成28年	7,323,360	937,700	4,597,709	1,787,951	
	構成比	平成28年	100%	12.8%	62.8%	24.4%	

資料：住民基本台帳（各年 1 月 1 日現在）

(3) 通勤・通学の流動

市内に常住する(市民)15歳以上の人のうち、市内で従業・通学している人は32.7%で、市外での従業・通学者が約7割を占めます。そのうち最も多いのは東京都(38.2%)、次いで県内のさいたま市(7.3%)となっています。

■通勤・通学の流動

[実数]

常住地による従業・通学市区町村 (流出先)				従業地・通学地による常住市区町村 (流入元)			
	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者		総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者
市内に常住する 就業者・通学者	69,145	62,608	6,537	市内で従業・ 通学する人	62,062	59,355	2,707
市内で従業・通学	22,600	21,689	911	市内に常住	22,600	21,689	911
自宅	3,777	3,777	-	自宅	3,777	3,777	-
自宅外	18,823	17,912	911	自宅外	18,823	17,912	911
市外で従業・通学	43,930	38,472	5,458	市外に常住	33,581	32,426	1,155
県内	12,733	10,740	1,993	県内	26,004	24,905	1,099
さいたま市	5,017	4,029	988	さいたま市	10,831	10,376	455
川口市	3,033	2,798	235	川口市	5,219	4,979	240
蕨市	1,586	1,464	122	蕨市	2,592	2,490	102
和光市	314	216	98	上尾市	712	696	16
川越市	292	193	99	越谷市	501	483	18
県外	27,931	24,939	2,992	県外	7,577	7,521	56
東京都	26,435	23,722	2,713	東京都	5,885	5,857	28
神奈川県	756	596	160	千葉県	769	763	6
千葉県	446	358	88	神奈川県	468	465	3

[構成比]

常住地による従業・通学市区町村 (流出先)				従業地・通学地による常住市区町村 (流入元)			
	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者		総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者
市内に常住する 就業者・通学者	100%	100%	100%	市内で従業・ 通学する人	100%	100%	100%
市内で従業・通学	32.7%	34.6%	13.9%	市内に常住	36.4%	36.5%	33.7%
自宅	5.5%	6.0%	—	自宅	6.1%	6.4%	—
自宅外	27.2%	28.6%	13.9%	自宅外	30.3%	30.2%	33.7%
市外で従業・通学	63.5%	61.4%	83.5%	市外に常住	54.1%	54.6%	42.7%
県内	18.4%	17.2%	30.5%	県内	41.9%	42.0%	40.6%
さいたま市	7.3%	6.4%	15.1%	さいたま市	17.5%	17.5%	16.8%
川口市	4.4%	4.5%	3.6%	川口市	8.4%	8.4%	8.9%
蕨市	2.3%	2.3%	1.9%	蕨市	4.2%	4.2%	3.8%
和光市	0.5%	0.3%	1.5%	上尾市	1.1%	1.2%	0.6%
川越市	0.4%	0.3%	1.5%	越谷市	0.8%	0.8%	0.7%
県外	40.4%	39.8%	45.8%	県外	12.2%	12.7%	2.1%
東京都	38.2%	37.9%	41.5%	東京都	9.5%	9.9%	1.0%
神奈川県	1.1%	1.0%	2.4%	千葉県	1.2%	1.3%	0.2%
千葉県	0.6%	0.6%	1.3%	神奈川県	0.8%	0.8%	0.1%

注) 県内自治体は上位5位、県外自治体は上位3件を表示

資料：平成22年国勢調査(平成27年分は未発表)

(4) 人口増減の動向

本市の人口増減についてみると、近年、自然動態（出生・死亡）は700人台の自然増で推移し、大きな変化はみられません。社会動態（転入・転出）は年間1万人前後の転入者、9,000人前後の転出者といった活発な動きがあり、合わせると1,000～1,700人台の社会増で、毎年ほぼ1%台の転入増となっています。

これらを踏まえた人口全体の増減は、おおむね2,000人台、2%弱の増加を維持しています。

■人口増減の内訳区分別推移（自然動態・社会動態）

	自然動態				社会動態				純増加	純増加率 (%)
	出生	死亡	自然増加	自然増加率 (%)	転入等	転出等	社会増加	社会増加率 (%)		
平成22年	1,436	733	703	0.58	10,732	9,286	1,446	1.18	2,149	1.75
平成23年	1,446	730	716	0.58	10,070	8,995	1,075	0.86	1,791	1.44
平成24年	1,483	724	759	0.60	10,195	8,897	1,298	1.03	2,057	1.63
平成25年	1,490	761	729	0.57	10,056	8,618	1,438	1.12	2,167	1.69
平成26年	1,571	799	772	0.59	10,330	8,560	1,770	1.36	2,542	1.95
平成27年	1,578	862	716	0.54	10,641	8,994	1,647	1.24	2,363	1.78

資料：住民異動月報

2 戸田市の生涯学習を巡る現状分析

「戸田市生涯学習に関する市民意識調査」の結果や「市民会議」をはじめとする検討過程を踏まえて、本計画の生涯学習に関する現状分析を、以下のポイントで整理します。

■背景

□ 人口減少社会の到来

- ・戸田市は、現在までゆるやかな人口増を確保しているが、埼玉県、日本全体としてはすでに人口減少・超高齢社会に突入しており、社会構造の変化への対応が迫られる。
《社会動向の現状把握》《戸田市・統計データ》ほか

□ 成熟社会における生涯学習の位置づけの変化

- ・「子育て支援や異年齢交流の機会の充実、健康・長寿及び介護に関することなどの学びの場と学びの成果を生かす場の提供」「学校教育での就職指導・キャリア教育支援事業」といった生涯学習の広がりが求められている。
《埼玉県生涯学習推進指針》

□ 行政・民間等の役割見直し

- ・行政の厳しい財政状況を踏まえつつ、民間活力の公的部門への導入や新しい市民の力（ボランティア、市民活動、NPO等）の活用といった近年の動向を反映した、生涯学習の推進が期待される。
《社会動向の現状把握》

■特性

□ 子育て・現役世代の多い人口構造

- ・埼玉県、日本全体に比べ、戸田市は平均年齢が若く、子育て世代の比率が高い傾向を維持している点は、戸田市の特徴であり、“強み”。これを活かし、かつこうした世代のニーズを的確に反映することが求められる。
《戸田市・統計データ》

□ 市民の流動性の高さ（住民増加）

- ・近年も、年間1万人前後転入者（9,000人前後の転出者）といった人口動態が継続しており、新たに戸田市民となる人・世帯が多い、流動性の高さが特徴といえる。
《戸田市・統計データ》

□ 都市的環境と独自の地域資源

- ・東京都に隣接し、市街地化が進捗している都市的環境とともに、荒川、彩湖をはじめとした親水環境や、花火大会、ふるさと祭りなど地域資源を有する。
《社会動向の現状把握》

■ 成果

□ 施設等の再編・促進

- ・地域交流センター等の運営・機能強化（指定管理制度導入など）で施設利用が活性化しているとの指摘がある。

《市民ワークショップでの話題》

- ・施設を利活用した市民による独自活動の広がりもみられる。

《市民ワークショップでの話題》《検討委員会での委員の発言》

□ 戸田市民大学等「市民向け事業」の継続、展開（市民企画講座など）

- ・市民企画委員など活動を通じての継続的な展開がみられる。

《市民ワークショップでの話題》

- ・戸田市市民大学の開設講座数の目標値は達成されている（42 講座）。

《検討委員会での委員の報告》

□ 多様な生涯学習ニーズの高さ

- ・ニーズとして「職業上必要な知識および技能」「日常の暮らしに役立つもの」「一般的な教養」への関心・意欲がある

（新たに始めたい「学習活動」として、トップの「体づくり・スポーツ」に続き、

「日常の暮らしに役立つもの」職業上必要な知識および技能に関するものが 50% 前後、「一般的な教養を高めるもの」「ボランティア活動」も 2 割台）。

《市民意識調査》

- ・講座の「ワークショップ形式」は、女性、若年齢層で、比較的関心を抱かせる形式の模様（「ワークショップ形式が中心」は男性より女性、20 代、30 代で高め。）。

《市民意識調査》

- ・今後身につけたい能力として、①プレゼンテーション能力、②インタビュー能力、③合意形成、ファシリテーション能力といったスキル、能力への学習期待は高い

（いずれも 5~6 割台の市民が期待、女性より男性、概ね若年齢層ほど意向が強い）。

《市民意識調査》

以上の現状分析を踏まえた、課題を整理します。

■課題

□ 生涯学習事業の認知・周知度

- ・『広報』は認知・評価がある程度高いが、市民の間で生涯学習事業の認知度は低い。
 《市民ワークショップでの話題》
- ・PR、情報共有不足の指摘、関心・興味を喚起させる仕掛けづくりへの期待がある。
 《市民会議での委員の発言》《検討委員会での委員の発言》

□ 生涯学習参加者の固定化

- ・参加者の固定化が進み、活動継続への不安の声も。
 《市民ワークショップでの話題》
- ・生涯学習活動への参加者の広がりは減少（「活動をしている」前回 56%→今回 50%）。
 《市民意識調査》

□ 施設等の活用の停滞（公民館等）

- ・「公共学習施設」の利用者は頭打ち（前回 48%→今回 42%）。
 《市民意識調査》
- ・公民館の活用の停滞の指摘。
 《市民会議での委員の発言》《市民ワークショップでの話題》

第3章 生涯学習推進の基本方針

1 基本理念

「第3次戸田市生涯学習推進計画」に基づく施策の成果、課題などを踏まえ、本計画の基本理念を以下のように掲げます。

つながり 磨き 高め合うまち とだ

— 豊かな学びの創造を目指して —

- これまでの成果を活かしながら、課題を見据えて、戸田市における生涯学習の位置づけ・意義づけを柔軟かつ的確にとらえ直し＝磨く、高め合う＝、一歩ずつ豊かな学びの在り方を目指します。
- 地域活動をはじめとする戸田市民のコミュニティへの関わりと戸田で学ぶことの関連＝磨く、高め合うを念頭に、地域でのつながりを重視した、豊かな学びの在り方を目指します。
- 生涯学習の主役である戸田市民自らが、みんなで学びを共有したり、主体的にそれぞれの目標や課題に向けての発見、研鑽ができる＝磨く、高め合う＝豊かな学びの在り方を目指します。

課題

- 生涯学習事業の認知・周知度
- 生涯学習参加者の固定化
- 施設等の活用の停滞（公民館等）

背景

- 人口減少社会の到来
- 成熟社会における生涯学習の位置づけの変化
- 行政・民間等の役割見直し

成果

- 施設等の再編・促進
- 戸田市民大学等「市民向け事業」の継続、展開（市民企画講座など）
- 多様な生涯学習ニーズの高さ

特性

- 子育て・現役世代の多い人口構造
- 市民の流動性の高さ（住民増加）
- 都市的環境と独自の地域資源

2 基本目標(目指すテーマ)

基本理念に基づいて、「戸田で学ぶ」をキーワードに、施策展開を進める上での方向性を示す4つの基本目標(目指すテーマ)を、次のとおりとします。

① 戸田での学びの内容や形を多様に豊かにする

【目指す内容】

- 多様なニーズ、多様な立場の参加者に対応した内容の充実
- 企画力・運営力の向上
- 生涯学習事業などの実績・成果のストック化の検討
- 地域資源の活用
- 生涯学習事業に関する振り返り評価と改善システム

② 戸田で学びたいと願う様々な人を増やす

【目指す内容】

- 既存の生涯学習活動の活性化・サポート
- 新規参加者の拡大促進
- 学びのメニューの見える化

③ 気軽に集える学びの機会や場・空間を戸田で増やす

【目指す内容】

- 既存の生涯学習関連施設の活用の推進
- 施設におけるソフト施策の充実
- 幅広い交流の場や空間の創造・活用
- 学びの入り口となる交流会やイベントの展開
- 従来の地域・コミュニティ活動と連携した学びの機会づくり

④ 戸田での学びについて広く知らせ伝える

【目指す内容】

- 情報発信体制の整備・強化
- 情報コンテンツの整備
- 発信媒体の多様化

3 施策の体系

基本理念、基本目標をもとに、具体的な施策の柱となる【基本施策】を設けて、総合的に展開していきます。

【基本理念】

つながり 磨き 高め合うまち とだ

— 豊かな学びの創造を目指して —

【基本目標(目指すテーマ)】

- ①戸田での学びの内容や形を多様に豊かにする
- ②戸田で学びたいと願う様々な人を増やす
- ③気軽に集える学びの機会や場・空間を戸田で増やす
- ④戸田での学びについて広く知らせ伝える

【基本施策】

3分野の基本施策を実施し、4つの基本目標を複合的に実現、基本理念の達成を目指します。

I 多様なニーズに応じて提供する主体的な

戸田の学び（アクティブラーニング）の充実

- 1 ライフステージに沿った学びの提供
- 2 多様なニーズに応じた学びの提供
- 3 市民の学び力を高めるサポート事業の提供
- 4 学びを豊かにするイベントの充実

主に学びの内容・企画に関する施策

II 戸田の学びを多彩に展開する環境の充実

- 1 関連施設の整備および活用
- 2 多彩な学びの場の確保・創出
- 3 各種サポート制度の整備
- 4 各種相談体制の充実

主に学びの展開・拡大を図る受け皿に関する施策

III 戸田の学びの広報および支援体制の充実

- 1 広報・情報提供体制の充実
- 2 市民・民間との連携体制の強化
- 3 庁内連携体制の強化
- 4 学びの事業の評価・改善の推進

主に広報および学びに関わる関係者の連携体制に関する施策

第4章 基本施策の展開

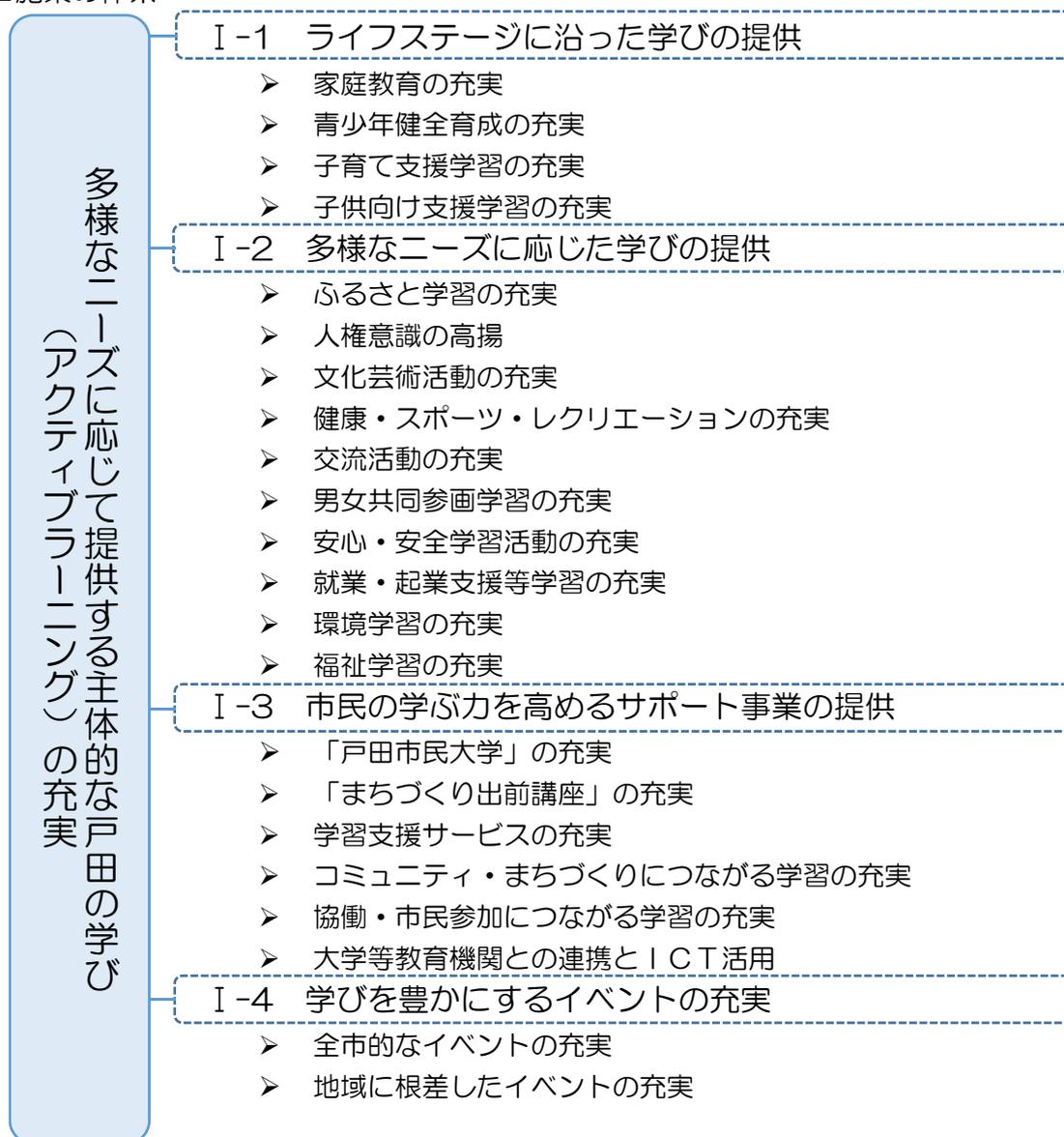
基本施策 I

多様なニーズに応じて提供する主体的な 戸田の学び(アクティブラーニング)の充実

主に学びの内容・企画に関する施策をまとめています。

従来の座学中心の講義形式のみならず、アクティブラーニングの手法も取り入れた、主体的・対話的な学びの提供や、学びの共有の場の創出を図ります。

■施策の体系

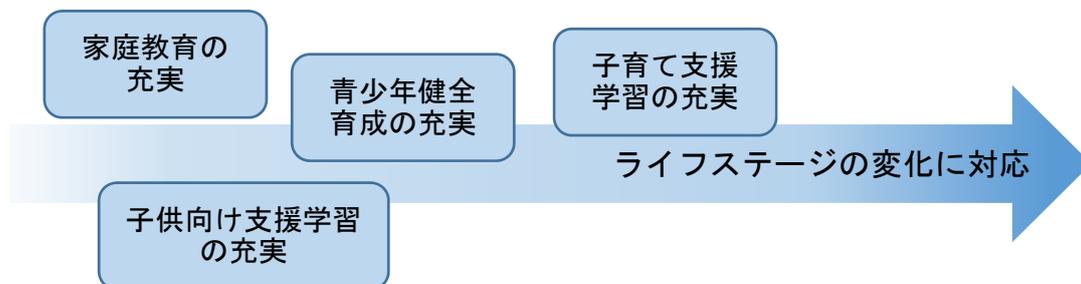


I-1 ライフステージに沿った学びの提供

■施策の方向性

生涯学習の動機や必要性、期待する学びの形は、それぞれであり、成長や生活の変化といったライフステージに沿って、求められる内容も変化します。あらゆるライフステージに対応した生涯学習の取り組みを提供していく必要は、現役・子育て世代の流動が大きい本市において、今後さらに強まると言えるでしょう。

家庭学習から青少年の健全育成、子育て世代に向けた支援、親子づれで参加する学びの機会、さらには小学生を対象にして大学教授による講座を行う「子ども大学」（子供向け支援学習の充実）といった、とすれば従来の生涯学習のとらえ方では目立たなかった、ライフステージの各層に向けても、**学びのきっかけづくりを図り**、様々な形での学びを提供していきます。

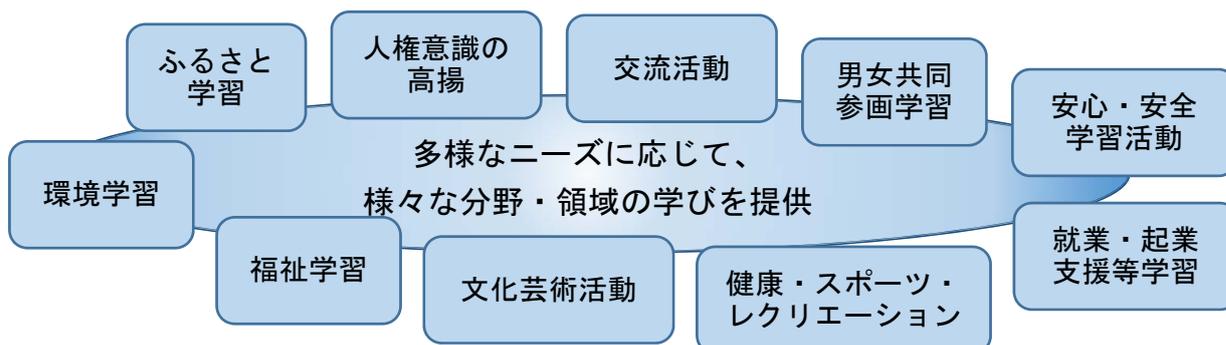


I-2 多様なニーズに応じた学びの提供

■施策の方向性

成熟社会においては、市民が抱く学びに対するニーズも多岐に渡ります。生涯学習として一般にイメージされることの多い文化・教養・スポーツ・趣味といった分野についてはもちろん、就業・起業支援までを含めた他の幅広い分野に関わる学びに関しても、市民の関心や意向を適切に踏まえて、学習メニューや機会を充実します。

また、提供する学びの内容や方法についても、単なる聴講や座学中心から、主体的・対話的に取り組む**アクティブラーニング**の導入を、積極的に進めていきます。

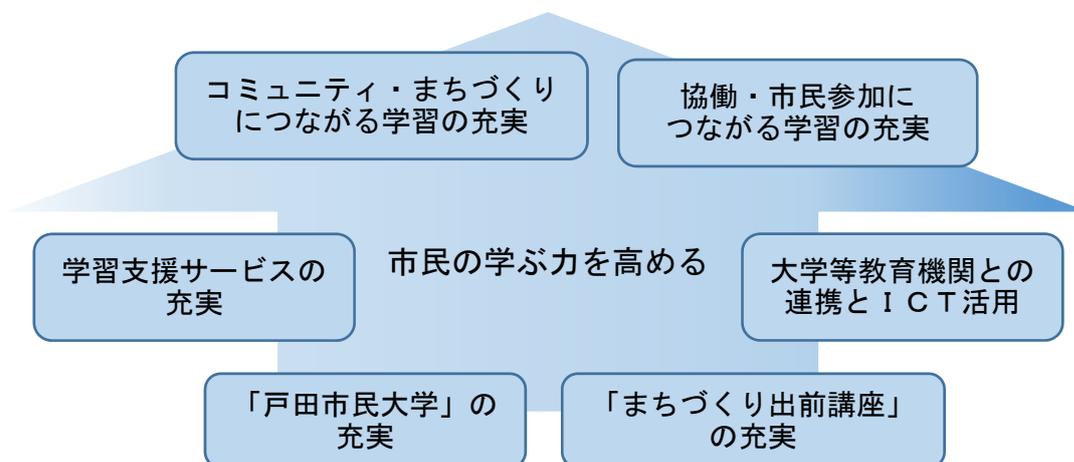


I-3 市民の学ぶ力を高めるサポート事業の提供

■施策の方向性

地域・コミュニティ活動の活性化と同様に、生涯学習の充実に向けては、参加する市民の皆さんが主体的に関わり、自ら、ともに学ぶ実態を作り出していくことが欠かせません。**アクティブラーニング**の考え方を取り入れるとともに、参加者が共同で企画・運営面に関わるといった点までを見据えた取り組みが期待されます。

従来の「まちづくり出前講座」に加え、**産官学民と積極的に連携**して「戸田市民大学」の充実を図るほか、市民大学の認定講座参加者に、今後の講座の企画・運営面での積極的参加を促す仕組みなど、新たな市民参加型の学びを推進し、市民の学ぶ力を高められるサポート事業を積極的に行っていきます。



I-4 学びを豊かにするイベントの充実

■施策の方向性

市民の皆さんが、それぞれの関心やニーズに応じて、気軽に参加できる代表的な生涯学習の機会・場として、全市的（講演会などの公開講座、子ども映画会や演奏会、公民館まつり、体育祭、文化祭など）、および地域に根差した（交流センター、コミュニティセンターでのイベントなど）イベントを、バランスよく展開していきます。



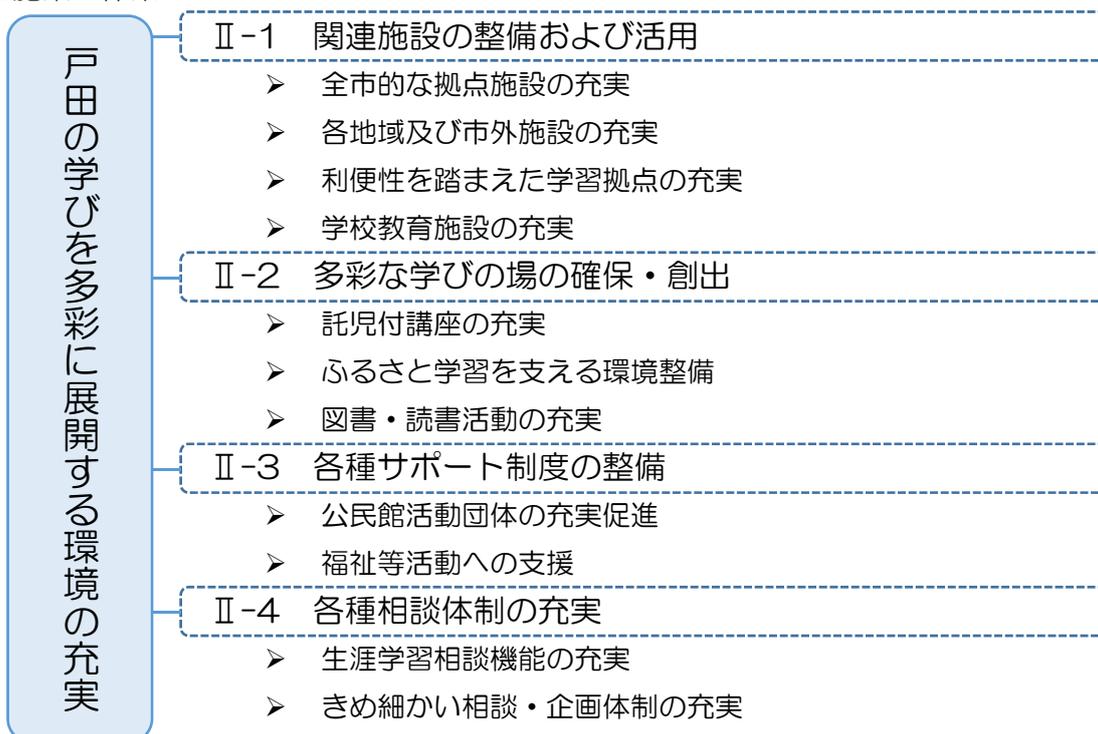
基本施策Ⅱ

戸田の学びを多彩に展開する環境の充実

主に学びの展開・拡大を図る受け皿に関する施策をまとめています。

生涯学習関連施設の活用を進めるとともに、学びの場の確保の仕組みやサポート制度、相談体制の整備など、多彩な学びの展開を支える受け皿づくり、環境づくりを推進します。

■施策の体系

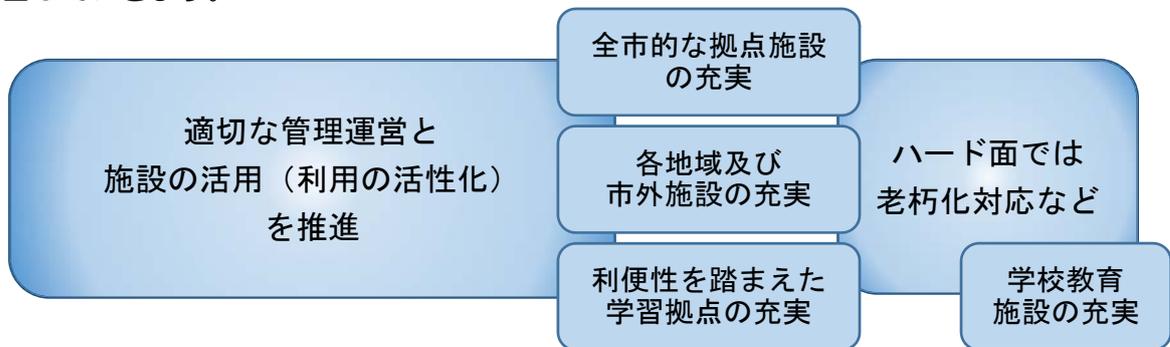


Ⅱ-1 関連施設の整備および活用

■施策の方向性

戸田の学びの展開・拡大を図る上で、基盤となる生涯学習関連施設については、本計画時点でハード面での大規模な整備（新設など）は概ね終了しているため、老朽化への対応（学校教育施設など）を適切に進めます。

一方、行財政の悪化や民間活力の導入といった社会的動向の変化を踏まえ、今後は適切な管理運営と施設の活用（利用の活性化）がますます重要視されます。公民館の在り方についての検討など、管理運営体制の見直しと強化を進めるとともに、児童センター管理運営事業における中高生中心のイベント開催など、新たな施設の活用の方向性を打ち出していきます。

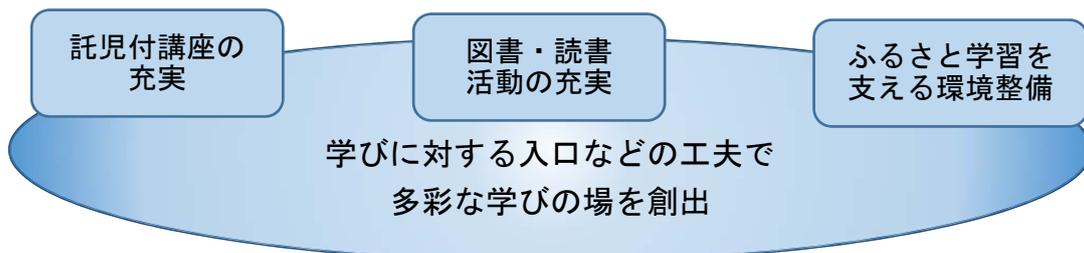


Ⅱ-2 多彩な学びの場の確保・創出

■施策の方向性

幅広い層や立場の市民が、それぞれの関心に従って学びに取り組むことをサポートするためには、学びの場もまた、多様である必要があります。特に、学びに対する入口の工夫や、学びにいたるための内容の可視化などは重要です。

現状でも一部で進めている託児付講座の充実や、ふるさと学習を支えるための資料館の資料の充実、図書・読書活動における「ブックスタート事業」（4 か月児健診に合わせた絵本の読み聞かせや、絵本・参考資料などの配布）など、多彩な学びの場の確保・創出に努めます。

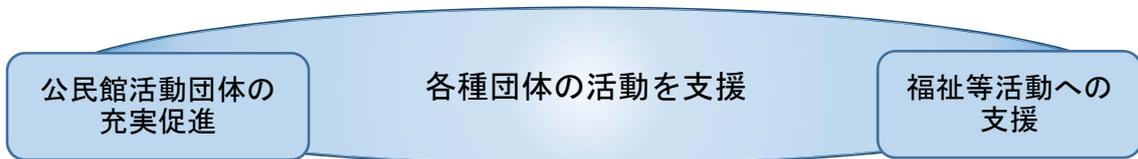


Ⅱ-3 各種サポート制度の整備

■施策の方向性

本市では、公民館活動の認定サークルをはじめとして、様々な生涯学習に取り組む活動団体が存在します。また、心身障害者福祉センターでは身体・精神障害者対象のサロン活動や、心身障害児を対象とする機能訓練等の体操・レクリエーションなど、余暇支援活動を実施しています。

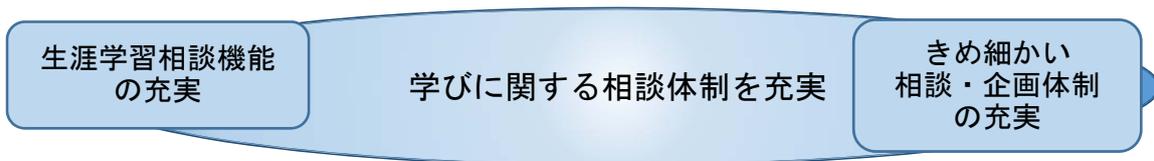
今後とも、こうした活動団体へのサポートを充実していきます。



Ⅱ-4 各種相談体制の充実

■施策の方向性

生涯学習の充実の受皿として、市民からの講座等に関する問い合わせに対応する窓口や、相談・企画体制の充実を図ることで、学びのきっかけを逃さず、一人でも多くの市民の多彩な学びに結びつくように努めます。



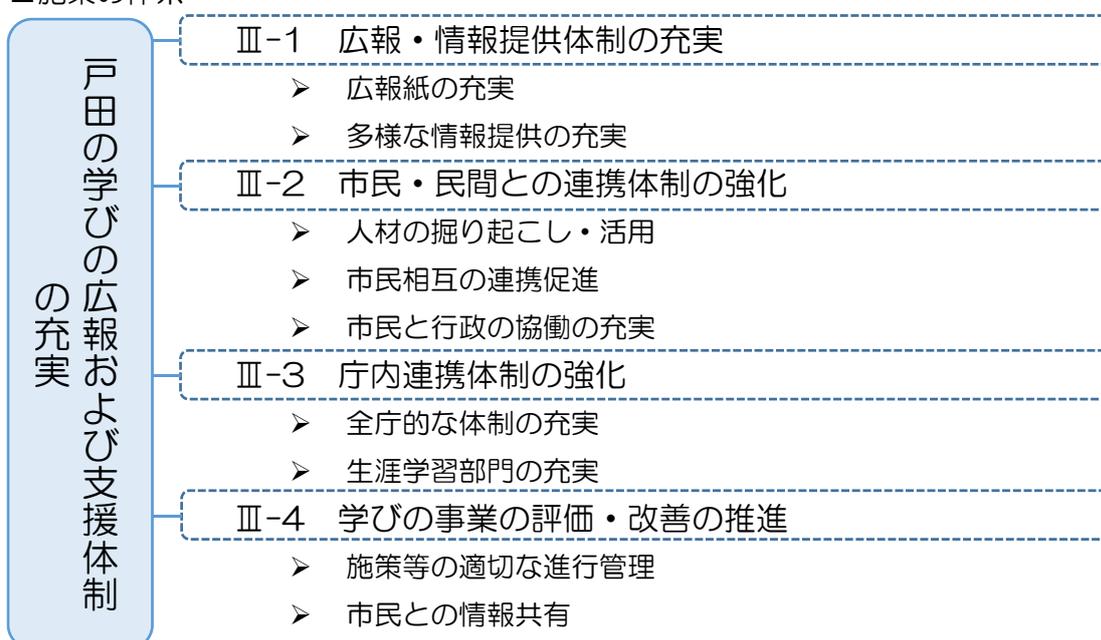
基本施策Ⅲ

戸田の学びの広報および支援体制の充実

主に広報および学びに関わる関係者の連携体制に関する施策をまとめています。

充実した学びの内容（基本施策Ⅰ）を整え、しっかりとした学びの受け皿で支えて提供していく（基本施策Ⅱ）—といった本市の生涯学習施策の展開を、広く知らせ、また各関係者と連携して推進していくための体制を充実させます。

■施策の体系

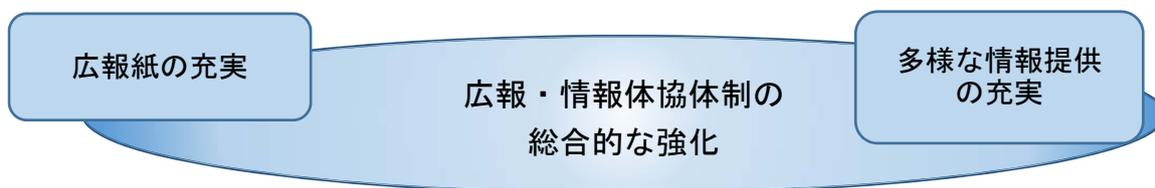


Ⅲ-1 広報・情報提供体制の充実

■施策の方向性

市民意識調査などの結果から見ると、市民の学びへの意欲は多種多様で強いものの、本市における生涯学習事業の認知や理解度はそれほど高くなく、広く細かく関連情報が届いていないというギャップが、大きな課題とされています。一方、広報紙の浸透度と評価は比較的高く、このチャンネル・ツールの強みを生かさない手はないと言えます。

本市の生涯学習に関わる情報発信体制と情報コンテンツの総合的な充実を目指し、生涯学習情報に関わるシステムの整備（施設利用予約等に関する情報システム、一元化した生涯学習情報提供体制の構築など）や、SNS の活用をはじめ、多様で新たな情報チャンネルによる情報発信を推進します。

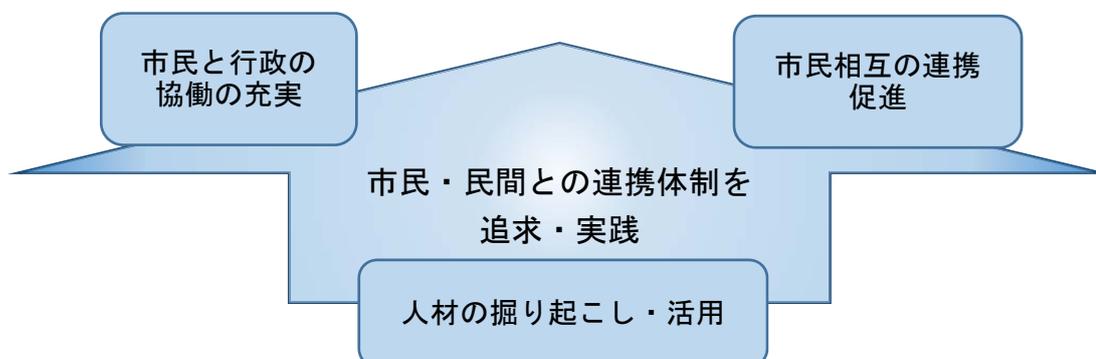


Ⅲ-2 市民・民間との連携体制の強化

■施策の方向性

生涯学習の充実を図っていく上で、行政が一方的にその環境や事業の負担をしていくことの限界は、現実的（財政および人的コスト）にも内容的（企画の硬直性など）にも広く共有されつつあります。市民・民間の力をいかに生涯学習の領域に招き入れ、学びの担い手探し、担い手育てを進めることが重要となります。

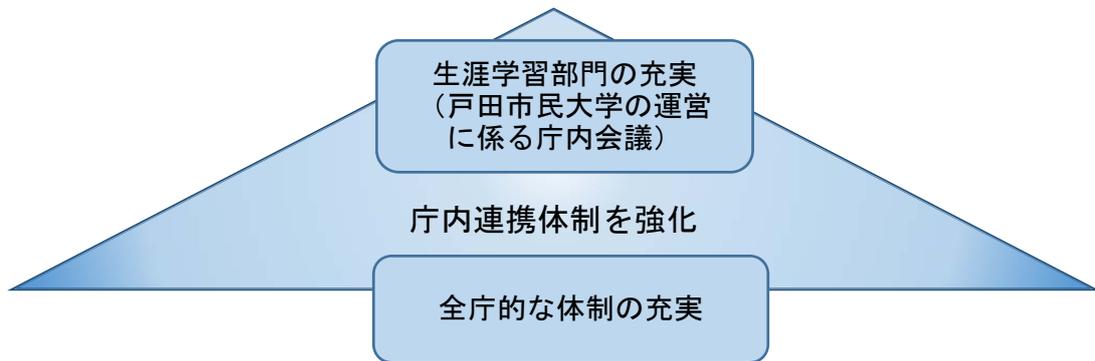
ボランティア・市民活動支援センターや戸田人材の森を通じての人材の掘り起こしに取り組むとともに、市民相互の連携と市民と行政の協働のより良い在り方を追求し、実践していきます。



Ⅲ-3 庁内連携体制の強化

■施策の方向性

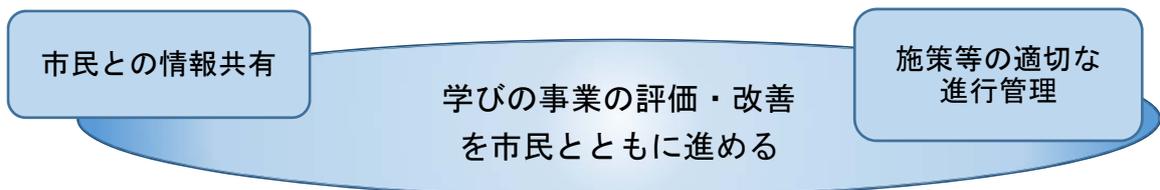
生涯学習の充実に向けた環境作りに向けて、庁内の関連部局における情報共有を効率かつ適切に実施する組織、仕組みを整備し、生涯学習部門の充実（具体的には、戸田市民大学の運営に係る庁内会議など）を図ります。



Ⅲ-4 学びの事業の評価・改善の推進

■施策の方向性

本計画に基づく各施策・事業の進捗については、庁内での適切な管理を進めるとともに、生涯学習に関する情報発信体制の状況や施策・事業の達成状況に関して、評価の機会、仕組みづくりを進めます。



第5章 目標指標と事業展開

1 目標指標

「第4次戸田市生涯学習推進計画」の基本施策の実施を通じて、基本理念である「つながり 磨き 高め合うまち とだ」の達成を図る、ひとつの目標水準として、以下のそれぞれの指標を掲げます。

(1) 全体に共通する目標指標

基本施策を総合的に推進することで、市民における生涯学習全体の活性化が進むことを把握しうる指標として、設定します。

全体指標

現在 (H27) ⇒ 目標 (H33)

- 「生涯学習事業」への初参加者数 無し ⇒ 延べ200人
(毎年40人増)
- 「生涯学習事業」参加者の満足度 無し ⇒ 80%
- 「生涯学習事業」の認知度 25% ⇒ 30%

(2) 基本施策に対応した個別の目標指標

基本施策の分野ごとの個別指標は、以下のように設定します。

基本施策Ⅰ 多様なニーズに応じて提供する主体的な戸田の学び
(アクティブラーニング)の充実

施策名	個別指標	現状 (H27年度)	目標値 (H33年度)	担当課
家庭教育の充実	「親の学習講座」または「すこやか子育て講座」の参加者数	2,402人	2,500人	生涯学習課
子育て支援学習の充実	子育て支援講座の参加者数	887人	1,000人	生涯学習課
健康・スポーツ・レクリエーションの充実	マラソン大会、市民体育祭、各種教室等の参加者数	15,045人	18,000人	文化スポーツ課
	健康増進事業の参加者数	2,211人	2,300人	福祉保健センター
安心・安全学習活動の充実	市民防災教室の参加者数	1,373人	2,500人	消防本部 予防課
就業・起業支援等学習の充実	就業・起業支援等の講座の参加者数	483人	600人	経済政策課
環境学習の充実	環境出前講座の参加者数	193人	延べ1,000人 (H29-33年度)	環境課
	戸田ヶ原サポーター(ガイド含む全て)人数	77人	80人	みどり公園課
	戸田530運動統一実践活動の参加者数	19,266人	21,000人	環境課
福祉学習の充実	認知症サポーター養成講座の参加者数	延べ3,251人 (H21-27年度)	延べ5,050人 (H21-33年度)	長寿介護課
「戸田市民大学」の充実	「市民大学認定講座」講座数	42講座	43講座	生涯学習課 ほか
	「市民大学認定講座」参加者数	2,730人	3,000人	生涯学習課
	「市民大学認定講座」市民企画講座の参加者数	186人	200人	生涯学習課
コミュニティ・まちづくりにつながる学習の充実	市民まちづくり塾の参加者数	59人	75人	都市計画課
全市的なイベントの充実	公民館まつりの参加者数(3館合計)	3,808人	4,000人	生涯学習課
	文化祭、音楽祭、市展の観覧者数	13,945人	16,000人	文化スポーツ課

※原則、参加者数は延べ人数

基本施策Ⅱ 戸田の学びを多彩に展開する環境の充実

施策名	個別指標	現在 (H27)	目標値 (H33)	担当課
公民館活動団体の充実促進	公民館まつりの参加者数 (3館合計)	3,808人	4,000人	生涯学習課
	公民館講座参加者数	4,600人	4,840人	生涯学習課

基本施策Ⅲ 戸田の学びの広報および支援体制の充実

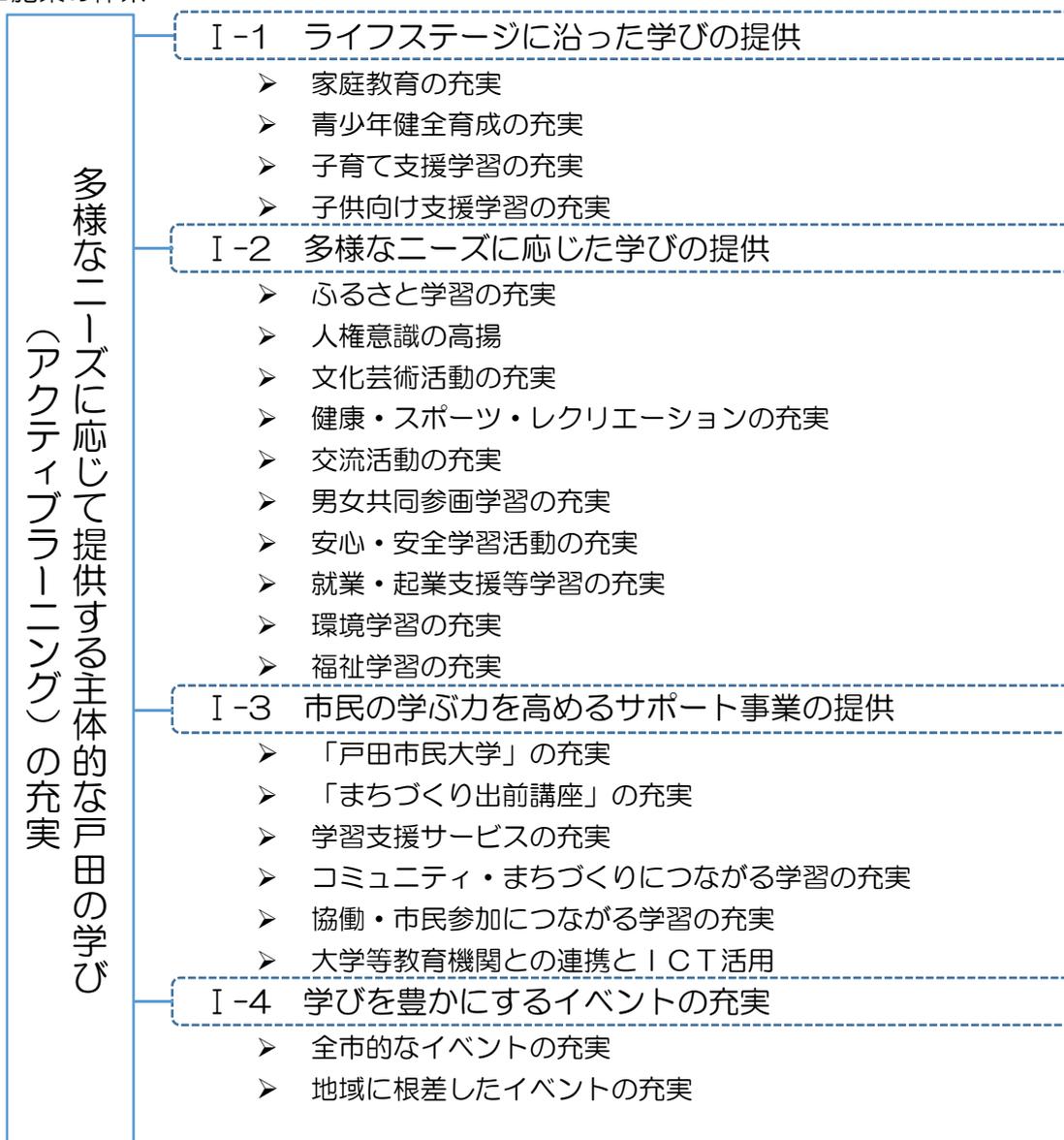
施策名	個別指標	現在 (H27)	目標値 (H33)	担当課
広報の充実	広報誌以外の新規チャネ ルーHP 閲覧数	なし	30,000PV (ページビュー)	生涯学習課
	広報誌以外の新規チャネ ルーSNS 閲覧数	なし	1,000 クリック	生涯学習課
人材の掘り起こし・活用	生涯学習サポーター養成講座の参加者数	延べ65人	延べ140人 (H29-33年度)	生涯学習課

2 事業展開

基本施策に沿って展開する各事業をまとめて以下に示します。

基本施策Ⅰ 多様なニーズに応じて提供する主体的な戸田の学び (アクティブラーニング)の充実

■施策の体系



■施策に沿った事業

I-1 ライフステージに沿った学びの提供

施策名	事業名	内容等	担当課
家庭教育の充実	「親の学習講座」 ・「すこやか子育て講座」	学校と連携し、小中学校入学前の就学時健康診断や入学説明会の機会に、参加型の子育て講座を開催する。	生涯学習課
	家庭教育学級	家庭教育に関するPTA主催講座を市内の全小・中学校にて実施する。 講座内容については、より“家庭教育”の趣旨に沿った内容の設定を推進する。	生涯学習課
	子育て講演会	小・中学校PTA会員をはじめとした市民を対象に子育てに関する講演会を開催する。	生涯学習課
青少年健全育成の充実	放課後子ども教室	放課後等におけるスポーツや文化活動などの体験活動・交流活動の充実を図る。 スタッフの確保とともに、各教育機関との連携を強化する。	児童青少年課
	青少年の居場所	スタッフの確保を十分に図り、10代を中心とした児童の居場所の確保を行う。	児童青少年課
子育て支援学習の充実	子育て支援講座	庁内関連部局との連携を図り、公民館などにおける各種講座(子育て講座・親子体操・紙芝居シアターなど)を計画・実施をする。	生涯学習課
	地域子育て支援拠点事業	市内小学校、学童保育室等、戸田公園駅前子育て広場及び福祉センターで、主に乳幼児(0～概ね3歳)をもつ子育て中の親子が気軽に集い交流する場を提供する。 打ち解けた雰囲気での交流ができ、子育て情報の発信、育児相談等の実施体制を充実する。	こども家庭課
子供向け支援学習の充実	子ども大学の開催	小学生対象に大学教授による講座の実施や大学を訪問するなど、学習意欲の一層の向上を図る。	生涯学習課
	子供向け・親子連れ支援学習講座(体験講座)	生涯学習の観点から(学校や家庭とは別に)、地域における子供向け・親子連れで参加可能な学習支援講座、体験講座等の計画・実現を進める。	生涯学習課 ほか

I-2 多様なニーズに応じた学びの提供

施策名	事業名	内容等	担当課
ふるさと学習の充実	文化財講座	文化財に関する講座を実施する。	生涯学習課
	特別展示、講演会、講座等開催事業	図書館・郷土博物館などにおける魅力的な展示、講演会、講座などの充実をはかる。	図書館・郷土博物館
	博学連携事業	小学生対象の博物館授業、学芸員による出張授業など学校教育の支援として博学連携事業を推進する。	図書館・郷土博物館
	自然環境調査研究・講座開催事業	戸田中学校「地域ふれあい体験学習講座」出展などのイベントを実施する。	図書館・郷土博物館
人権意識の高揚	資料収集・展示事業	彩湖自然学習センター周辺の希少植物の保護・育成、写真・標本等の展示、生物展示・配布などの充実をはかる。	図書館・郷土博物館
	人権講演会	小・中学校PTA会員をはじめとした市民を対象の講演会を開催する。	生涯学習課
	人権教育指導者研修会	一般市民、小中学校PTA、関係団体役員、市職員等を対象に指導者研修会開催する。	生涯学習課
	人権写真展	各種人権に関する写真を展示し、人権意識を高める。	生涯学習課
	人権教育研修会（フィールドワーク）	人権教育に関して、施設等を訪れる研修会を開催する。	生涯学習課
	人権啓発リーフレット配布	人権啓発リーフレットを戸田市人権推進協議会と共同で作成し、市内全世帯に配布する。	生涯学習課
	公民館講座、人権教育	各公民館における大学講座などで、各種人権問題の講座、人権教育を実施する。	生涯学習課
企業人権問題研修会	企業向けに、働く上で不可欠の人権意識の高揚を図るセミナーを実施する。	経済政策課	
文化芸術活動の充実	公民館まつり	公民館での活動サークルの発表の場として公民館まつりを開催し、合わせて市民の文化芸術活動参加を促進する。	生涯学習課
	文化祭	市民の創作活動の機運を醸成し、市民文化の高揚に寄与するため、実施する。 特に、若い世代への情報発信を強化する。	文化スポーツ課
	美術展覧会	市民の芸術文化に対する意識を高めるとともに、創作活動の普及、豊かな人間性を養う市民文化の振興に寄与をめざして、実施する。 特に、若い世代への情報発信を強化する。	文化スポーツ課

I-2 多様なニーズに応じた学びの提供

施策名	事業名	内容等	担当課
健康・スポーツ・レクリエーションの充実	スポーツイベント事業	戸田マラソン、市民体育祭をはじめ、スポーツに関する各種教室等を開催する。	文化スポーツ課
	健康増進事業	健康福祉まつり、生活習慣病改善にかかわる講座、まちづくり出前講座、こころの健康講演会などを開催し、その他健康教育等の充実を図る。	福祉保健センター
	リズム体操の実施	戸田市社会福祉協議会と連携、社協支部活動の一環として、リズム体操の実施機会を提供する(定期的な練習、年1回の発表会)。	福祉総務課
	老人クラブ事業	シルバースポーツ大会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展などスポーツから文化活動まで幅広い、老人クラブ活動の支援を充実させる。	長寿介護課
交流活動の充実	友好都市交流事業	国内外の友好・姉妹都市との交流事業の継続・発展をとおして、市民に学習機会を提供していく。	協働推進課
男女共同参画学習の充実	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進条例の周知啓発とともに、男女共同参画の視点に立った講座等(講演会、研修会、男女共同参画講座、自立支援講座、男女共同参画情報紙等)の充実を図る。	協働推進課
安心・安全学習活動の充実	防犯教室	園児・児童・生徒・保護者・先生・高齢者等を対象とし、防犯対策・不審者対策(自転車盗、振り込め詐欺被害防止等含む)等の防犯教室を実施する。	防犯くらし交通課
	交通安全教室	市内の保育園・幼稚園・学校、高齢者団体や町会など地域団体からの要望に基づき、年齢の特性に配慮した交通安全教室を実施する。	防犯くらし交通課
	消費生活出前講座	悪質商法やネットトラブルなどの消費者トラブルを未然に防げるように、消費生活の講座を実施する。	防犯くらし交通課
	市民防災知識普及活動事業	市民防災教室の使用により、市民の防災に関する知識を高める。	消防本部 予防課

I-2 多様なニーズに応じた学びの提供

施策名	事業名	内容等	担当課
就業・起業支援等学習の充実	埼玉県労働セミナー	労働者、使用者双方が労働関連の法令や制度の知識を身につけ、適切な就労環境構築に資するセミナーを実施する。	経済政策課
	ビジネスマナー研修会	市内企業の若手・新入社員、教育担当者向けに接客対応、接遇等ビジネスマナーに関する講座を実施する。	経済政策課
	就職支援セミナー	求職者の早期就職支援に向け、自己分析や応募書類の書き方、面接のポイントなど様々なテーマのセミナーを実施する。	経済政策課
	起業支援セミナー	起業にあたっての課題となるビジネスプランの立て方、資金繰りで気をつける点、見落としがちな営業力等について学ぶセミナーを実施する。	経済政策課
環境学習の充実	環境ネットワーク事業	環境月間のパネル展示、とだ環境フェアを実施する。	環境課
	環境出前講座	環境出前講座及びまちづくり出前講座の充実を図る。	環境課
	戸田530運動統一実践活動	各町会・自治会を中心とした市内一斉清掃活動（年4回）の充実を図る。	環境課
	リサイクル推進事業	リサイクル素材を用いた屋上緑化施設「フェルトガーデン戸田」について、市民、学校、他自治体等の視察受け入れなど、環境学習の場としての活用を促進する。	環境課
	生き物マップ作成	市内の小・中学生を対象とした、身近な生き物観察活動を実施。観察結果を集約、データ化して、市ホームページにて公開することで、市民への普及啓発も行う。	みどり公園課
	戸田ヶ原自然再生事業	戸田ヶ原自然再生に関するガイド講習を実施し、戸田ヶ原ガイドを育成する。受講後は、ガイドとして活躍する各種イベントなどを展開する。 市内の小学3～4年生を対象とし、戸田ヶ原自然再生キャラクター「とだみちゃん」を活用して「戸田ヶ原」を学ぶ「とだみちゃん出張授業」を実施する（講師は上記の戸田ヶ原ガイド）。 市民ボランティア（戸田ヶ原サポーター）の協力を得て、戸田ヶ原自然再生エリアの保全管理作業を実施する。	みどり公園課

I-2 多様なニーズに応じた学びの提供

施策名	事業名	内容等	担当課
福祉学習の充実	ボランティアセミナーの実施	戸田市社会福祉協議会と連携、ボランティアセンターにおいて、ボランティアセミナーを開校する。	福祉総務課
	心身障害者福祉センター事業	障害者の支援につながる市民対象のボランティア養成講座を開催する。	障害福祉課
	認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者を養成する講座を開催する。 対象は、地域住民・町会・民生委員等で、養成講座後のフォローアップや小学生・中学生等、若年層に向けての講座開催も検討する。	長寿介護課

I-3 市民の学ぶ力を高めるサポート事業の提供

施策名	事業名	内容等	担当課
「戸田市民大学」の充実	市民大学認定講座	市民大学認定講座を実施し、市民の関心、参加者の拡大をめざす。市民のニーズや課題の解決につながるような新たなテーマ(経済教育など)、手法を企画し、受講者が主体的に学びを高められる工夫を推進する。	生涯学習課 ほか
	市民大学修了者大学等聴講補助制度	市民大学修了者の学習支援のために、「戸田市民大学修了者大学聴講等補助制度」の活用を推進する。	生涯学習課
「まちづくり出前講座」の充実	まちづくり出前講座	市民が主催する学習の場へ、市職員が講師として出向いて講座を実施し、市民の市政への理解を高め、まちづくりへの積極的な参加を促す。	生涯学習課 ほか
学習支援サービスの充実	パソコン講座・パソコン相談	パソコン操作からソフト活用、インターネット等講座の開設、これらに伴う相談窓口の開設を行う。	生涯学習課
コミュニティ・まちづくりにつながる学習の充実	大学連携講座における「まちづくり」に関する学習	市民大学認定講座として、地域における「学びの場」の企画や運営を行うことのできる人材を養成し、市民のまちづくり活動に参加の機会を広げる。	生涯学習課
	地域コミュニティ推進事業	地域の交流の場であるコンパルやさくらパルで、地域住民のニーズに応える講座等の事業を実施していけるように指定管理者に働きかけていく。 また、地域と一体となった活動の拠点として発展していけるように支援する。	協働推進課

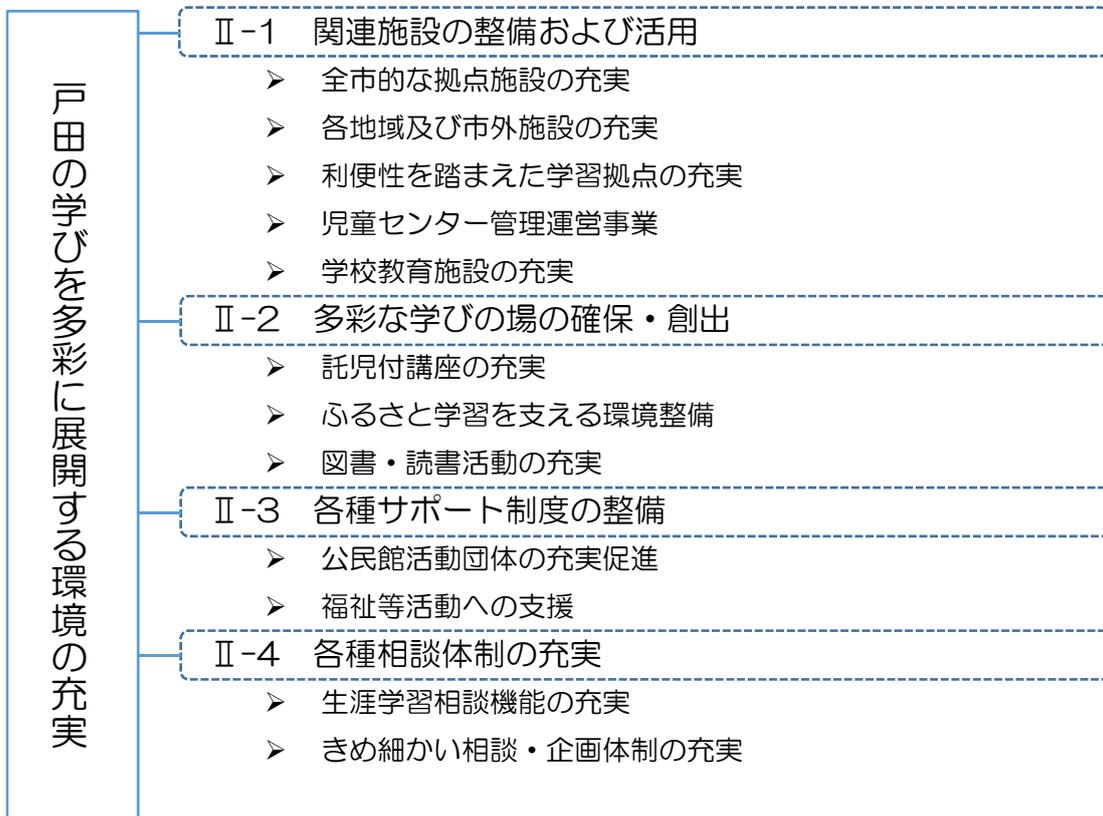
	市民まちづくり塾	市民に身近なまちづくりに対する、関心を持ってもらえるように都市計画制度の理解を深める学習機会の場として、社会人を対象とした全3回の市民まちづくり塾を開催する。	都市計画課
協働・市民参加につながる学習の充実	協働・市民参加につながる学習	市民大学認定講座のメニューの工夫、同講座修了者の活躍の場の企画などを通じ、協働・市民参加につながる学習機会を多面的に提供する。	生涯学習課
大学等教育機関との連携とICT活用	サテライト大学講座の実施	大学（大学院）と連携し、インターネットを活用した遠隔講義によるサテライト講座を実施する。	生涯学習課

I-4 学びを豊かにするイベントの充実

施策名	事業名	内容等	担当課
全市的なイベントの充実	戸田市民大学公開講座（講演会）	開催方法、テーマ、講師選びなどを工夫し、市民の参加ニーズに沿った市民向け講演会を実施する。	生涯学習課
	福祉センターホールの積極的活用（子ども映画、演奏会の開催）	福祉センターのホールにおける集客効果の向上を図るため、子ども映画会や演奏会などを開催する。	生涯学習課
	公民館まつり	公民館での活動サークルの発表の場として公民館まつりを開催する。	生涯学習課
	市民体育祭	スポーツ、レクリエーションを通じ、健康の維持・増進と地域コミュニティづくりを推進するため、地域住民が主体となる市民体育祭を実施する（市内6地区）。	文化スポーツ課
	文化祭	市民の創作活動の機運を醸成し、市民文化の高揚に寄与するため、実施する。	文化スポーツ課
	美術展覧会	市民の芸術文化に対する意識を高めるとともに、創作活動の普及、豊かな人間性を養う市民文化の振興に寄与をめざして、実施する。	文化スポーツ課
地域に根差したイベントの充実	上戸田地域交流センター（あいパル）管理運営	あいパルフェスタを継続的に実施する。	福祉総務課
	笹目コミュニティセンター・新曽南多世代交流館管理運営	笹目コミュニティセンターにて実施しているコンパルまつりの継続的な実施、また、新曽南多世代交流館にて、平成28年度にはさくらパル祭りを新たに実施したが、これを継続することにより、地域に根差したイベントのさらなる充実を図っていく。	協働推進課

基本施策Ⅱ 戸田の学びを多彩に展開する環境の充実

■施策の体系



■施策に沿った事業

II-1 関連施設の整備および活用

施策名	事業名	内容等	担当課
全市的な拠点施設の充実	公民館管理運営事業	公民館の在り方について検討・見直しを図る。	生涯学習課
	図書館管理運営事業	図書館・博物館・文書館機能が揃う複合施設は全国にも少ないという強みを生かし、市民が豊かな教養を育み、生涯にわたる学習の場づくりを進める。 図書館資料の充実を図り、市民の学習意欲やニーズに応じていく。	図書館・郷土博物館
	郷土博物館運営事業	歴史・民俗等の人文科学と地質・生物等の自然科学にわたる幅広い分野で調査・研究を行う総合博物館として、地域の「知」を集めた「まちの記憶装置」としての充実強化に努める。市内外の多くの人の利用促進に努める。	図書館・郷土博物館

	彩湖自然学習センター管理運営事業	貴重な自然環境を生かした、自然観察や体験活動等ができる学習の場としての整備を推進する。安全の観点と再訪者確保に向けて、老朽化施設の改善に努める。	図書館・郷土博物館
	笹目コミュニティセンター管理運営（指定管理）	心のふれあう豊かな地域社会の形成と市民文化の向上を目指し、施設の管理運営を行う。	協働推進課
	新曽南多世代交流館管理運営（指定管理）	幅広い多世代にわたる交流の促進を目指し、施設の管理運営を行う。	協働推進課
	ボランティア・市民活動支援センター管理運営（指定管理）	市民活動支援の拠点である施設の管理運営を行う。	協働推進課
	上戸田地域交流センター管理運営（指定管理）	学びと交流のプラットフォームを目指し、施設の管理運営を行う。	福祉総務課
	心身障害者福祉センター事業（指定管理）	社会適応訓練室等を心身障害児者に提供することにより、障害児者団体、ボランティア団体等の自主的な活動の促進に努める。老朽化施設の適切な修繕を実施し、利便性の向上を図る。	障害福祉課
	児童センター管理運営事業（指定管理）	プリムローズ・こどもの国において、児童・青少年を対象とした、講座を実施する。中高生による運営委員会の設置、中高生中心のイベント開催など、自主的な取り組みを推進する。	児童青少年課
各地域及び市外施設の充実	少年自然の家管理運営事業（指定管理）	自然の中で心身ともに健全な青少年の育成を目指すとともに、広く市民の利用を図り、自然と親しむ機会を提供できる宿泊施設の管理運営を行う。老朽化に伴う対応は今後検討。	生涯学習課
	保養所管理運営事業（指定管理）	日常生活をリフレッシュする温泉入浴施設として、指定管理者制度による運営で、質の高いサービスを提供する。	防犯くらし交通課
利便性を踏まえた学習拠点の充実	芦原小学校生涯学習施設管理事業	生涯学習施設における利用者の登録及び貸出を実施する。	生涯学習課
	図書館管理運営事業	市内の各所点にある分館、分室と戸田公園駅前配本所の運営の充実を図る。	図書館・郷土博物館
学校教育施設の充実	東小学校、東中学校建替工事	老朽化した東小学校、東中学校校舎の改築工事を推進する。	教育総務課
	老朽施設の設備改修工事	長期間有効使用を目指して、老朽化した学校施設の校舎の外壁塗装を計画的に推進する。	教育総務課

II-2 多彩な学びの場の確保・創出

施策名	事業名	内容等	担当課
託児付講座の充実	託児付講座	託児を必要とする方が参加しやすいよう託児付講座を実施する。	生涯学習課
ふるさと学習を支える環境整備	指定文化財保護	指定文化財の管理者に対して管理・保存を目的とする戸田市指定文化財管理補助金・戸田市文化財保存事業費補助金を交付する。文化財の新指定に向けた資料調査を実施する。	生涯学習課
	郷土博物館資料収集・保存利用事業	郷土博物館における、資料の収集とその活用の推進を図る。	図書館・郷土博物館
	アーカイブズ・センター事業	アーカイブズ・センターにおける資料・史料の活用を促進する。	図書館・郷土博物館
図書・読書活動の充実	集会・文化活動事業	教養講座、ボランティア養成講座、レファレンス講座、おはなし会、映画会等など、図書館に足を運ぶ市民、利用者を増やす多様な仕掛けを展開する。	図書館・郷土博物館
	ブックスタート事業	4か月児健診に合わせ、絵本の読み聞かせや、絵本・参考資料などを配布する「ブックスタート事業」を推進する。	図書館・郷土博物館
	図書館資料のリサイクル	ロビーにリサイクルコーナーを常設し、随時配置し、提供する。	図書館・郷土博物館

II-3 各種サポート制度の整備

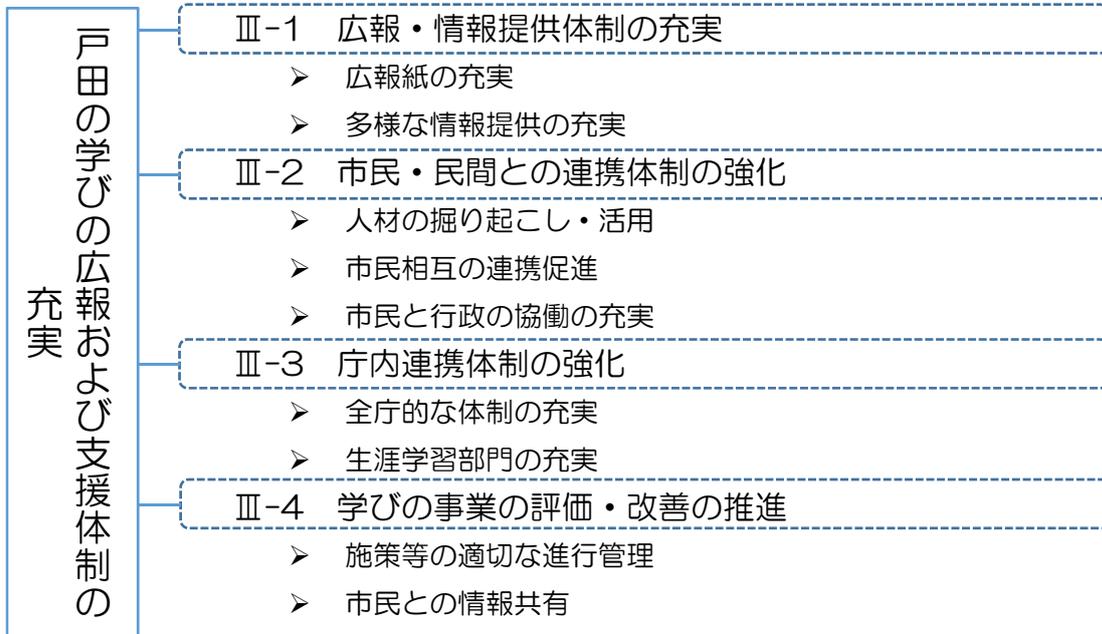
施策名	事業名	内容等	担当課
公民館活動団体の充実促進	認定サークルの育成・支援	公民館を基盤として活動を行う、認定サークルの育成と支援を図る。	生涯学習課
福祉等活動への支援	心身障害者福祉センター事業	障害者対象事業や障害者スポーツ教室等を開催、身体・精神障害者対象のサロン活動や、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	障害福祉課

II-4 各種相談体制の充実

施策名	事業名	内容等	担当課
生涯学習相談機能の充実	生涯学習関連相談	生涯学習課窓口を設け、市民からの講座等に関する問い合わせに対応する。	生涯学習課
きめ細かい相談・企画体制の充実	社会教育指導員による生涯学習関連講座等の事業計画	社会教育指導員による講座・教室の企画、運営を推進する。公民館との連携にも留意する。	生涯学習課
	公民館事業計画	健康講座、子育て講座、生活講座、趣味の講座、夏休みこども体験講座などを実施する。	生涯学習課

基本施策Ⅲ 戸田の学びの広報および支援体制の充実

■施策の体系



■施策に沿った事業

Ⅲ-1 広報・情報提供体制の充実

施策名	事業名	内容等	担当課
広報紙の充実	生涯学習情報誌等の発行	生涯学習情報誌「あなたも生涯学習を!」、「まちづくり出前講座メニュー表」、「戸田人材の森」の発行及びホームページへの掲載を行い、講座等の分野別に市民にわかりやすい情報提供を行う。	生涯学習課
	広報戸田市の発行	広報戸田市において定期的に講座情報等を掲載し、広く市民に対し生涯学習情報を提供する。	政策秘書室
多様な情報提供の充実	生涯学習情報システム	施設利用予約等、市民の利便性を向上させるための、生涯学習に関連する情報システムを整備する。一元的に生涯学習情報を提供する体制の構築を庁内関係部局と連携して進める(生涯学習に関する講座、イベント、サークル情報を一元的に紹介するサイト等)。	生涯学習課ほか
	生涯学習関連情報の提供充実	埼玉県生涯学習ステーション等、市民が利用できる関連機関の生涯学習情報提供の充実を図る。	生涯学習課
	生涯学習ホームページの充実	全庁的な取り組みとして行われている「戸田市民大学」をはじめ	生涯学習課

		とした、各課・所で実施される生涯学習講座等の情報提供や、文化財の解説等の掲載を行う。	
	図書館・郷土博物館の情報発信	図書館の各種刊行物、「郷土博物館だより」、ホームページなどを通じた情報発信を充実する。	図書館・郷土博物館
	市史編さん事業	戸田市史等刊行物の頒布の充実を図る。	図書館・郷土博物館
	彩湖自然学習センター広報事業	「カワセミ通信」、ガイドブックの駅配架、ホームページなどを通じた情報発信を充実する。報道機関等によるパブリシティにも力を入れる。	図書館・郷土博物館
	SNS 等新たな情報チャネルの活用	従来の広報媒体・チャネルの有効性を検証するとともに、SNS 等新たな情報チャネルの活用について、統合的に検討し、導入を図る。 庁内関係各部署と連携し、必要な調整（チャネルの整理等）を進める。	生涯学習課 ほか

Ⅲ-2 市民・民間との連携体制の強化

施策名	事業名	内容等	担当課
人材の掘り起こし・活用	戸田人材の森	さまざまな知識や技能を持った市民の登録を促進し、市民の学習活動の支援を進める。	生涯学習課
	生涯学習サポーターの養成	生涯学習サポーター養成講座を実施し、「学びの場」を企画・運営する学びの担い手を養成する。	生涯学習課
	ボランティア・市民活動支援センター事業	市民活動支援の拠点であるボランティア・市民活動支援センターの登録団体だけでなく、各課で所管している「人材リスト」をまとめ、市民にとってより使いやすいものにしていくとともに、人材養成講座を受講した人材の受け皿となるよう、整備していく。	協働推進課
	ボランティア・市民活動支援センター事業	引き続き、指定管理者と調整を行い、団体同士の交流が促進されるような講座等を開催するとともに、人材の養成を図る。	協働推進課
	男女共同参画推進事業	女性人材リストの更なる充実と活用が図られるよう整備していく。	協働推進課
市民相互の連携促進	市民大学認定講座	市民の高い学習意欲に応えるため専門的なテーマを体系的に学習する市民大学認定講座を実施する。	生涯学習課 ほか
	認定サークルの育成・支援	公民館を基盤として活動を行う、認定サークルの育成と支援を図る。	生涯学習課

市民と行政の協働の充実	市民企画講座の実施	「生涯学習サポーター養成講座」の受講者等が中心となり、市民による市民大学認定講座である市民企画講座を実施する。	生涯学習課
	協働推進事業	自治基本条例推進委員会を開催するとともに協働について市民への周知・啓発を進めていく。	協働推進課

Ⅲ-3 庁内連携体制の強化

施策名	事業名	内容等	担当課
全庁的な体制の充実	生涯学習推進のための組織体制強化	生涯学習を推進するため、庁内関係各課との連携を強化する。	生涯学習課ほか
生涯学習部門の充実	戸田市民大学の運営に係る庁内会議の開催	全庁的な取り組みである「戸田市民大学」の運営に向けて、庁内の調整を図りながらカリキュラムの計画、立案を行うための、運営委員会等の庁内会議を開催する。	生涯学習課

Ⅲ-4 学びの事業の評価・改善の推進

施策名	事業名	内容等	担当課
施策等の適切な進行管理	計画の進捗管理	生涯学習推進計画の進捗状況の管理を適宜実施する。	生涯学習課
市民との情報共有	生涯学習情報の共有	生涯学習事業に関する情報発信の状況を、適宜確認・修正する。	生涯学習課
	定期的な事業評価・改善機会の確保	生涯学習事業の進捗・達成状況に関して、毎年評価し、改善の機会を確保する。	生涯学習課